

2023年度第3四半期 決算報告書

プレスリリース

2023年10月26日、パリ発

多角的なビジネスモデルによる堅調な本源的業績は分配可能純利益¹に反映

営業収益¹: 前年同期比+4.3%

営業費用¹: 前年同期比+3.4%

リスク費用: 33ベースポイント

税引前利益¹: 前年同期比+7.2%

当四半期純利益¹: 2,705百万ユーロ

多角的なビジネスモデルの強みが営業収益²の増加に貢献

ホールセールバンキング部門 (+5.1%)

コマーシャル&個人向けバンキングサービス部門 (+6.7%)

インベストメント&プロテクションサービス部門 (-1.8%)

(不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメントを除くと+5.6%))

ジョーズ効果はプラス

リスク費用は低水準

税引前利益は大幅に増加

財務構造は盤石 (普通株式等Tier1: 13.4%³)

分配可能純利益¹は大幅に増加

(前年同累計期間 (1-9月) 公表額比+9.5%)

2023年度第3四半期累計期間 (1-9月) 分配可能利益: 8,810百万ユーロ

(2023年度第3四半期累計期間 (1-9月) 純利益 (公表額) : 9,906百万ユーロ

(一時項目および特別損益項目による大きな影響を含む。))

分配可能EPS⁴は大幅に増加

(前年同累計期間 (1-9月) 公表額比+14.9%)

2023年度第3四半期累計期間 (1-9月) 分配可能EPS: 7.11ユーロ

2023年度の分配可能純利益¹において成長軌道を確認

1. 純利益は、2023年度の普通配当の算出の基礎となるものであり、Bank of the Westの売却による影響および単一破綻処理基金の増額への抛出後の当グループの本源的業績を反映している。2023年度第3四半期決算資料のスライド8およびスライド44に記載。増減はこれに基づき算出; 2. 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く。コマーシャル&個人向けバンキングサービス (CPBS) 部門についてはプライベートバンキングの100%を含む (フランスのPEL/CELの影響を除く); 3. 資本要求指令5 (CRD5)。国際財務報告基準 (IFRS) 第9号経過規定を含む; 4. 2023年度第3四半期累計期間 (1-9月) の分配可能純利益および期末発行済株式数に基づき算出した期末の1株当たり分配可能利益 (期中平均株式数に基づき6.85ユーロ)。2023年度第3四半期決算資料のスライド68に記載



BNP PARIBAS

The bank
for a changing
world



本プレスリリースに含まれる数値は、未監査の数値です。

2023年5月2日、BNPパリバは、2022年度の四半期の数値を修正再表示し、各四半期について (i) 2023年2月1日のBank of the Westの売却に伴う、売却目的で保有する資産および負債の処分グループに関するIFRS第5号の適用、(ii) 2023年1月1日付でのIFRS第17号(保険契約)の適用および保険会社に対するIFRS第9号の適用、(iii) 2022年1月1日付でのトルコに対する国際会計基準(IAS)第29号(超インフレ経済下における財務報告)の適用、ならびに(iv) グローバル・マーケット事業およびベルギーのコマーシャル&個人向けバンキングにおける事業および純利益の内部振替を反映したものを公表しました。2022年度の四半期の数値は、これらの影響について2022年1月1日に発生したものととして修正再表示されています。本プレスリリースに記載されている2022年度の四半期の数値は修正再表示後のものです。

本プレスリリースには、将来の事象に関する現在の見解および見通しに基づいた予測的な記述が含まれています。予測的な記述には、財務上の予測や見積りおよびその基礎となる仮定、将来の事象、事業活動、商品およびサービスに関連する計画、目標および見通しに関する記述、ならびに将来の業績およびシナジーに関する記述があります。予測的な記述は将来の業績を保証するものではなく、BNPパリバとその子会社および出資先企業にまつわる固有リスク、不確実性および仮定によって左右されるものです。さらには、BNPパリバとその子会社の事業展開、銀行業界のトレンド、将来の設備投資および買収、グローバルまたはBNPパリバの主要地域市場における経済状況の変化(世界的には特に新型コロナウイルスのパンデミック関連)、市場競争ならびに規制といった要因にも左右されます。これらの事象はいずれも不確実なものであり、現在の見通しとは異なる結果と、ひいては現在の見通しとは大きく異なる業績をもたらす可能性があります。実際の業績は、予測的な記述において見積りまたは示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。本プレスリリースに含まれるいかなる予測的な記述も本プレスリリース発行日現在の予測です。

BNPパリバは、新たな情報や将来の事象によって、予測的な記述を公に修正または更新する責任を負いません。これに関連して、「監督上の検証・評価プロセス(Supervisory Review and Evaluation Process : SREP)」は欧州中央銀行(ECB)により毎年実施されますが、BNPパリバ・グループが満たすべき所要資本比率は毎年修正される可能性があることに留意が必要です。

本プレスリリースに含まれるBNPパリバ以外の第三者に関わる情報または外部の情報源から入手した情報は、その真実たることを独自に確認したものではありません。ここに記載の情報や意見に関して、表明または保証を明示あるいは示唆してはならず、またその公正性、正確性、完全性または正当性に依拠することはできません。BNPパリバまたはその代表者ともに、いかなる過失に対しても責任を負わず、また本プレスリリースもしくはその内容の使用により生じる、または本プレスリリースやここに記載の情報や資料に関連して生じる、いかなる損失に対しても責任を負いません。

表中および分析において掲載された数値は四捨五入のため、内訳の合計と総数に若干の差異が生じる場合があります。



BNPパリバの取締役会が2023年10月25日に開催され、ジャン・ルミエール会長が議長を務めるなか、当グループの2023年度第3四半期の業績が検討されました。

ジャン＝ローラン・ボナフェCEO（最高経営責任者）は取締役会の最後に、以下のように述べました。

「BNPパリバ・グループは、すべての経営資源と能力を引き続き結集し、個人・法人・機関投資家、より一般的には欧州経済に貢献しています。

当グループの第3四半期における良好な業績は、当グループのビジネスモデルの堅固性、および景気循環のあらゆる局面においてお客様を支援するという当グループの長期的なコミットメントを示しています。この業績は、当グループの長期的アプローチ、プラットフォームの効率性、事業、地域および顧客特性の面での多角化、ならびに慎重かつ積極的なリスク管理を反映しています。

当グループおよびそのすべての事業は、経済および社会の変革の課題に対応するため、気候、生物多様性および社会的包摂へのコミットメントを実行し続けています。

当グループのすべての事業のチームおよびお客様の信頼に謝意を表します。」

*
* *

堅調な業績

BNPパリバは多角的かつ統合的なビジネスモデルを備えており、チーム、資源および能力を結集して顧客に寄り添い経済とともに歩む力を包括的に擁しているため、2023年度第3四半期においても引き続き事業活動と純利益を成長させることができました。

多角的なビジネスモデルの強みに牽引され、当グループの業績は、分配可能利益¹に反映されているように、堅調に推移しました。これにより¹、営業収益は前年同期比4.3%増、営業費用は前年同期比3.4%増となりました。営業費用は十分に抑制され、当グループはプラスのジョーズ効果を達成しました。長期的アプローチおよび慎重かつ積極的なリスク管理により、リスク費用は低水準（顧客向け融資残高の33ベースポイント相当）にとどまり、『Growth, Technology & Sustainability 2025』プランの指針である40ベースポイントを下回りました。

分配可能純利益¹は、2023年度第3四半期累計期間（1-9月）において8,810百万ユーロとなり、前年同期の純利益¹と比較して9.5%増と大幅に増加しました。当グループの自律的成長が、Bank of the Westの売却による影響を相殺しました。したがって、分配可能純利益は、Bank of the Westの売却による影響および単一破綻処理基金の増額への拠出の後の当グループの本源的業績を反映しています。

当グループは、社会との関わりを深める方針を強化しています。当グループは、包括的なアプローチを採用し、顧客とともに、2050年までのカーボンニュートラル経済の実現に貢献するという明確な意欲および目標を掲げ、持続可能な低炭素経済への移行に取り組んでいます。特に、当グループは、2023年5月に気候報告書を公表し、ポートフォリオにおいてカーボンニュートラルを達成するという目標に基づき、国際エネルギー機関の「2050年までのネットゼロ」シナリオに合わせて、最も排出量が多いセクターのローンポートフォリオを調整するために実施した措置を詳述しています²。BNPパリバの資金調達力は認知されています。例え

¹ 純利益は、2023年度の普通配当の算出の基礎となるものであり、Bank of the Westの売却による影響および単一破綻処理基金への拠出後の当グループの本源的業績を反映している。2023年度第3四半期決算資料のスライド8およびスライド44に記載されている。増減はこれに基づき算出されている。2023年度第3四半期累計期間（1-9月）の分配可能純利益は、2023年2月に行われた発表に基づき調整されている。すなわち、純利益（公表額）から一時項目（2023年度第3四半期累計期間（1-9月）において、Bank of the Westの売却による譲渡益（+2,947百万ユーロ）および2022年度第4四半期に欧州中央銀行が決定したTLTROの条件変更に伴うヘッジ調整によるマイナス影響（-891百万ユーロ））を除き、かつ補完的調整（当グループの純利益+916百万ユーロ、うち+802百万ユーロは単一破綻処理基金の増額の終了による見込額）を行う

² 2023年5月に公表された当グループの気候報告書を参照



ば、2023年度上半期において、グリーンボンド発行額で世界首位となり、サステナブル・ファイナンスにおいてグローバル・リーダーとなりました¹。

2023年度第3四半期において、営業収益は11,581百万ユーロ（前年同期は11,141百万ユーロ）でした。これには、2022年度第4四半期に欧州中央銀行が決定したTLTROの条件変更に伴う一時的なマイナス影響（-58百万ユーロ）（2023年度第3四半期の分配可能純利益から除外）が含まれていました。

この一時的な影響およびBank of the Westの売却に伴う補完的調整（-14百万ユーロ）を除くと、分配可能純利益を算出するための調整を行った営業収益は、11,625百万ユーロとなり、前年同期比4.3%増でした。

事業部門の当四半期の営業収益は、前年同期比3.7%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+4.8%）でした。ホールセールバンキング（CIB）部門の営業収益は、3.0%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+5.1%）となり、ビジネスモデルの多角化に牽引されました。グローバル・バンキング事業の営業収益は大幅な増収（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+24.7%）で、証券管理事業の営業収益は堅調に増加しました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+12.4%）。グローバル・マーケット事業の営業収益は、顧客取引のさらなる正常化により、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと8.4%減でした。コマーシャル&個人向けバンキングサービス（CPBS）部門の営業収益²は、コマーシャル&個人向けバンキング事業における大幅な増加（+7.4%²）および専門的金融事業における増収（+4.1%²）により、6.1%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+6.7%）となりました。インベストメント&プロテクションサービス（IPS）部門の営業収益は、2.6%減（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-1.8%）でした。不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメントの寄与を除くと4.5%増で、ウェルス・マネジメント事業（+9.1%）および保険事業（+4.3%）における大幅な増収によるものでした。

グループ全体の当四半期の営業費用は、7,093百万ユーロ（前年同期は6,860百万ユーロ）で、前年同期比3.4%増でした。これにより、当グループは、プラスのジョーズ効果を達成しました。当四半期の営業費用には、一時項目による影響として、事業再編費用と事業適応費用（40百万ユーロ）およびIT強化費用（87百万ユーロ）による合計127百万ユーロ（前年同期は125百万ユーロ）が含まれていました。

事業部門の当四半期の営業費用は、前年同期比3.2%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+4.7%）でした。ジョーズ効果はプラス（+0.5ポイント）でした。CIB部門の営業費用は、1.7%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+5.0%）と十分に抑制されました。ジョーズ効果はプラス（+1.2ポイント）でした。CPBS部門の営業費用²は、4.8%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+5.2%）でした。ジョーズ効果はプラス（+1.3ポイント）でした。コマーシャル&個人向けバンキング事業の営業費用は4.3%増²、ジョーズ効果はプラスで、専門的金融事業の営業費用は、事業開発および変革の支援のため、6.0%増²でした。IPS部門の営業費用は、ほぼ横ばい（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含むと+0.1%、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+1.0%）でした。不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメントの寄与を除くと、ジョーズ効果はプラスでした。

以上から、グループ全体の営業総利益は、当四半期において4,488百万ユーロとなり、前年同期の4,281百万ユーロを上回りました。

分配可能純利益を算出するための調整を行ったグループ全体の営業総利益は、当四半期において4,532百万ユーロとなり、前年同期比5.9%増の大幅増益でした。

グループ全体のリスク費用は、当四半期において734百万ユーロ（前年同期は897百万ユーロ）となり、顧客向け融資残高の33ベースポイント相当で、低水準にとどまりました。これは、不良債権（ステージ3）に対する低水準の引当金（パーソナル・ファイナンスにおける不良債権のリスク費用を除くと390百万ユーロ）および正常債権（ステージ1および2）に対する引当金の緩やかな戻入を反映しています。2022年度第3四半期のリスク費用には、ポーランドの「債務者支援法」による一時的影響（204百万ユーロ）が計上されてきました。

¹ 出所: Dealogic社、All ESG Fixed Income, Global & EMEA Sustainable Financing (ESG Bonds and Loans)、ブックランナー（取引高ベース）、2023年度上半期

² プライベートバンキングの100%を含む（フランスのPEL/CELの影響を除く）



グループ全体の営業利益は、当四半期において**3,754**百万ユーロとなり、前年同期の**3,384**百万ユーロを上回りました。

分配可能純利益を算出するための調整を行ったグループ全体の営業利益は、当四半期において**3,798**百万ユーロとなり、前年同期比**12.2%**増の大幅増益でした。

グループ全体の営業外項目は、当四半期において**60**百万ユーロの利益（前年同期は**215**百万ユーロの利益）となりました。

グループ全体の税引前利益は、当四半期において**3,814**百万ユーロとなり、前年同期の**3,599**百万ユーロを上回りました。

分配可能純利益を算出するための調整を行ったグループ全体の税引前利益は、当四半期において**3,858**百万ユーロとなり、前年同期比**7.2%**増の大幅増益でした。

当グループは、**2023年2月1日**にBank of the Westの売却を完了しました。**2021年12月20日**に発表された当該取引の条件は、売却目的で保有する資産および負債のグループに関してIFRS第5号の適用範囲に該当します。IFRS第5号に従い、**2022年度第3四半期**における非継続事業の純利益は、**136**百万ユーロとなりました。

以上から、当グループの純利益は、当四半期において**2,661**百万ユーロとなりました。前年同期は**2,773**百万ユーロ（非継続事業の純利益を除くと、**2,637**百万ユーロ）でした。

2023年2月の発表に従い、当四半期における当グループの純利益は、分配可能純利益を算出するための調整が行われています。これは、Bank of the Westの売却後、および単一破綻処理基金の増額への拠出の終了後の、当グループの堅調な本源的業績を反映しています。その結果、当四半期における当グループの分配可能純利益は、**2022年度第4四半期**に欧州中央銀行が決定したTLTROの条件変更に伴う一時的なマイナス影響の調整（**58**百万ユーロ）およびBank of the Westの売却に伴う追加調整（**-14**百万ユーロ）による**44**百万ユーロの営業収益調整後、**2,705**百万ユーロとなりました。当四半期において、その他の調整はありませんでした。

2023年9月30日現在、普通株式等Tier1比率は**13.4%**¹でした。流動性カバレッジ比率（期末）は、**2023年9月30日**現在、**138%**でした。当グループの即時利用可能な余剰資金は**439**十億ユーロに上り、これは資金調達との関係で**1年超**の余裕資金があることを意味しています。レバレッジ比率²は**4.5%**でした。

1株当たり有形純資産額³は**86.3**ユーロで、**2018年12月31日**から**33.2%**増加し、当グループが景気循環を通じて企業価値を継続的に創造していることを証明しています。

2023年度第3四半期累計期間（1-9月）において、グループ全体の営業収益は**34,976**百万ユーロとなり、**2022年度第4四半期**に欧州中央銀行が決定したTLTROの条件変更に伴う一時的なマイナス影響（**-891**百万ユーロ）および訴訟引当金による一時的影響（**-125**百万ユーロ）があったものの、前年同期比**1.2%**増でした。一時項目および特別損益項目の影響を除くと、営業収益は前年同期比**4.2%**増でした。

事業部門の営業収益は、前年同期比**3.0%**増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと**+3.6%**）でした。CIB部門の営業収益は、**1.6%**増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと**+2.8%**）となりました。これには、グローバル・バンキング事業の大幅な増収（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと**+18.8%**）および証券管理事業の力強い伸び（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと**+7.1%**）が貢献しました。グローバル・マーケット事業の営業収益は、顧客取引の正常化により、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと**6.7%**減でした。

¹ CRD5、IFRS第9号経過規定を含む

² 規則（EU）2019/876に従って算定

³ 再評価後



CPBS部門の営業収益¹は、コマーシャル&個人向けバンキング事業における伸び（+5.2%¹）および専門的金融事業における増収（+4.8%¹）により、5.1%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+5.4%）となりました。IPS部門の営業収益は、0.6%減（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-0.3%）でした。これは、不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツにおける低迷による影響を受けたものの（不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツの寄与を除くと+5.5%）、ウェルス・マネジメント事業（+8.8%）および保険事業（+6.6%）における持続的成長により牽引されたことによるものでした。

グループ全体の営業費用は23,173百万ユーロとなり、前年同期比3.5%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+4.3%）でした。当第3四半期累計期間の営業費用には、一時項目による影響として、パーソナル・ファイナンスにおける事業適応費用全般（236百万ユーロ）、事業再編費用と事業適応費用（128百万ユーロ）およびIT強化費用（275百万ユーロ）による合計639百万ユーロ（前年同期は302百万ユーロ）が含まれていました。これらの一時項目による影響を除くと、営業費用は2.0%増加しました。これにより、当グループは、プラスのジョーズ効果を達成しました。

事業部門の営業費用は、前年同期比2.6%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+3.3%）でした。ジョーズ効果はプラスでした。CIB部門の営業費用は、1.5%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+3.1%）で、営業費用は抑制されました。ジョーズ効果はプラスでした。CPBS部門の営業費用¹は、3.3%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+3.6%）でした。ジョーズ効果はプラス（+1.8ポイント）でした。コマーシャル&個人向けバンキング事業の営業費用¹は2.0%増、専門的金融事業の営業費用¹は、6.2%増でした。IPS部門の営業費用は、2.5%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+2.7%）で、不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツの寄与を除くと3.1%増でした。

以上から、グループ全体の営業総利益は、当第3四半期累計期間において11,803百万ユーロとなりました。前年同期は12,152百万ユーロでした。一時項目および特別損益項目による影響を除くと、8.1%増の大幅増益でした。

グループ全体のリスク費用は、当第3四半期累計期間において2,065百万ユーロ（前年同期は2,306百万ユーロ）でした。当第3四半期累計期間のリスク費用には、ポーランドに対する引当金の一時的影響（130百万ユーロ）が含まれており、前年同期のリスク費用には、ポーランドの「債務者支援法」による一時的影響（204百万ユーロ）が含まれていました。リスク費用は、顧客向け融資残高の31ベースポイント相当で、まだ低水準にとどまっています。これは、当第3四半期累計期間における正常債権に対する引当金の戻入（238百万ユーロ）を反映しています。

グループ全体の営業利益は、当第3四半期累計期間において9,738百万ユーロとなりました。前年同期は9,846百万ユーロでした。一時項目および特別損益項目による影響を除くと、11.3%増の大幅増益でした。

グループ全体の営業外項目は、当第3四半期累計期間において511百万ユーロの利益（前年同期は578百万ユーロの利益）となりました。前年同期の営業外項目には、bpost bankの負ののれんから生じたプラス影響（+244百万ユーロ）および譲渡益（+204百万ユーロ）が含まれていましたが、Ukrsibbank株式の減損（-159百万ユーロ）および為替換算差額の純損益への分類変更に伴うマイナス影響（-274百万ユーロ）により相殺されました。

グループ全体の税引前利益は、当第3四半期累計期間において10,249百万ユーロとなりました。前年同期は10,425百万ユーロでした。一時項目および特別損益項目による影響を除くと、10.2%増の大幅増益でした。

当第3四半期累計期間の法人税率は平均で30.1%（前年同期は30.4%）でした。これは特に、IFRIC第21号「賦課金」により当年度の税金・拠出金が第1四半期に計上され、その大半は税控除できないことによるものです。

当グループは、2023年2月1日にBank of the Westの売却を完了しました。2021年12月20日に発表された当該取引の条件は、売却目的で保有する資産および負債のグループに関してIFRS第5号の適用範囲に該当します。IFRS第5号に従い、当第3四半期累計期間における非継続事業の純利益は、2,947百万ユーロとなりましたが、

¹プライベートバンキングの100%を含む（フランスのPEL/CELの影響を除く）



これは、**Bank of the West**の売却による譲渡益を反映しており、特別損益項目として扱われています。かかる利益は、前年同期は502百万ユーロでした。

以上から、当グループの純利益は、当第3四半期累計期間において9,906百万ユーロ（非継続事業の純利益を除くと、6,959百万ユーロ）となりました。前年同期は7,706百万ユーロ（非継続事業の純利益を除くと、7,205百万ユーロ）でした。

2023年2月の発表に従い、当第3四半期累計期間における当グループの純利益は、分配可能純利益を算出するための調整が行われています。これは、**Bank of the West**の売却後、および単一破綻処理基金の増額への拋出の終了後の、当グループの堅調な本源的業績を反映しています。その結果、当第3四半期累計期間の分配可能純利益は、8,810百万ユーロとなりました。

有形自己資本利益率（再評価前）は、年率12.7%となりました。これは、当グループの堅実な業績を反映しており、多角的かつ統合的なビジネスモデルの強みが貢献しました。

*

* *



ホールセールバンキング (CIB) 部門

CIB部門は、多角的かつ統合的なビジネスモデルを強みとして顧客および経済にサービスを提供し、純利益の大幅増益、プラスのジョーズ効果およびリスク費用の削減を達成しました。

CIB部門は、引き続き市場シェアを拡大し、主導的地位にあることを確認しました。例えば、CIB部門は、資本市場では収益ベースでEMEA地域¹において第1位で、サステナブル・ファイナンス²の分野では世界およびEMEA地域¹において第1位となりました。

ファイナンス事業における顧客取引は、特に米州およびEMEA地域¹において非常に高水準でした。株式市場における取引は、特にエクイティデリバティブおよびプライムブローカー業務の取引高において維持され、クレジット市場では需要が大幅に増加しました。金利市場、為替市場およびコモディティ市場では環境がさらに正常化しました。証券管理事業の事業活動は、引き続き堅調で、市場の回復に伴い平均残高も増加しました。

2023年度第3四半期において、CIB部門の営業収益は、3,896百万ユーロとなり、前年同期比3.0%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+5.1%）でした。グローバル・バンキング事業（+24.7%³）および証券管理事業（+12.4%³）が非常に堅調な伸びを示し、グローバル・マーケット事業の回復力が好調であったこと（-8.4%³）が寄与しました。

グローバル・バンキング事業は、非常に好調な業績を達成し、営業収益も大幅に増加しました。同事業は、市場シェアを拡大し、債券市場およびシンジケートローン市場において欧州のリーダーとしての地位を確立し、またトランザクションバンキング業務では2023年度上半期において収益ベースでEMEA地域¹において同率首位となりました⁴。

融資残高⁵は当四半期において179十億ユーロで、前年同期比1.8%減となりました。預金残高⁶は208十億ユーロで、前年同期比2.5%増となりました。

グローバル・バンキング事業の営業収益は、当四半期において1,404百万ユーロとなり、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと前年同期比24.7%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含むと+19.9%）の大幅増収でした。営業収益は、米州およびEMEA地域¹において増加しました。トランザクションバンキング業務の営業収益が、特にEMEA地域¹において大幅に増加し（+58.7%³）、キャピタルマーケット事業のプラットフォームにおける営業収益が、特に米州およびEMEA地域¹において大幅に増加したことが寄与しました。

エクイティデリバティブ市場における活況は持続し、プライムブローカー業務の取引高も好調でした。金利市場、為替市場およびコモディティ市場における取引は、非常に高水準であった前年同期と比較して鈍化しました。クレジット市場では全体的に、特にEMEA地域¹において取引が大幅に増加しました。

グローバル・マーケット事業の営業収益は、当四半期において1,800百万ユーロとなり、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと前年同期比8.4%減（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含むと-9.1%）でした。FICC事業⁶の営業収益は、当四半期において1,021百万ユーロ（前年同期は1,156百万ユーロ）となり、株式・プライムサービス事業からFICC事業に移管している事業の影響を除くと、前年同期比14.3%減でした。クレジット業務は非常に好調であったものの、高水準であった前年同期と比較してEMEA地域¹における取引がさらに正常化したことにより、相殺されました。株式・プライムサービス事業の営業収益は、当四半期において779百万ユーロ（前年同期は824百万ユーロ）となり、エクイティデリバティブ事業が寄与し、株式・プライムサービス事業からFICC事業に移管している事業の影響を除くと、前年同期比で微減（-0.2%）となりました。

¹ 欧州、中東、アフリカ

² 出所: Dealogic社、All ESG Fixed Income, Global & EMEA Sustainable Financing (ESG Bonds and Loans)、ブックランナー（取引高ベース）、2023年度第3四半期（1-9月）

³ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

⁴ 出所: Coalition Greenwich Competitor Analytics、2023年度上半期におけるEMEA地域のトランザクションバンキング業務（コルレスバンキングを除く、キャッシュマネジメントおよびトレードファイナンス）においてCoalition Indexの上位12行の収益ベースで同率第1位

⁵ 平均残高（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く）

⁶ Fixed Income, Currency and Commodities（債券、為替、コモディティ）



市場リスクの尺度であるバリュー・アット・リスク（VaR。保有期間1日、信頼区間99%）は、低水準で推移し、前四半期をわずかに上回り、当四半期は33百万ユーロとなりました。

多角的なビジネスモデルに支えられ、証券管理事業は、大幅な増収となり、事業の勢いも好調でした。同事業は、オーストラリアのUniSuperとの三者間担保管理に関するマニフェスト等、新規のマニフェストを獲得し、プライベートキャピタルにおいて持続的な発展を継続しました。平均残高は、市場の回復により、前年同期比8.3%増と大幅に増加した一方で、取引高は、市場のボラティリティの低下により、前年同期比2.9%減でした。

証券管理事業の営業収益は、当四半期において691百万ユーロとなり、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと前年同期比12.4%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含むと+9.4%）の大幅増収でした。その要因は、平均残高の増加による影響および金利環境による継続的な好影響でした。

CIB部門の営業費用は、当四半期において2,368百万ユーロとなり、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと前年同期比5.0%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含むと+1.7%）でした。ジョーズ効果は、全体的にプラスで、グローバル・バンキング事業および証券管理事業では極めて高水準でした。

CIB部門の営業総利益は、当四半期において1,528百万ユーロとなり、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと前年同期比5.2%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含むと+4.9%）でした。

CIB部門では、当四半期において47百万ユーロの引当金戻入が行われました。グローバル・バンキング事業では、正常債権（ステージ1および2）に対する引当金および不良債権（ステージ3）に対する引当金につき、46百万ユーロの戻入が行われました。CIB部門のリスク費用は、顧客向け融資残高の-11ベースポイント相当となりました。

以上から、CIB部門の税引前利益は、当四半期において1,555百万ユーロに達し、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと前年同期比12.8%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含むと+13.6%）の大幅増益となりました。

2023年度第3四半期累計期間（1-9月）において、CIB部門の営業収益は12,766百万ユーロとなり、前年同期比1.6%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+2.8%）でした。これは、グローバル・バンキング事業における非常に力強い伸び（+16.8%）および証券管理事業における増収（+5.2%）によるものでした。グローバル・マーケット事業の営業収益は、高水準であった前年同期比7.3%減でした。

グローバル・バンキング事業の営業収益は、当第3四半期累計期間において4,283百万ユーロとなり、前年同期比16.8%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+18.8%）で、トランザクションバンキング業務（特にEMEA地域¹）およびキャピタルマーケット事業のプラットフォームにおいて大幅な増収でした。グローバル・バンキング事業は、特にEMEA地域¹において、引き続き市場シェアを拡大しました。

グローバル・マーケット事業の営業収益は、当第3四半期累計期間において6,476百万ユーロとなり、非常に高水準であった前年同期比7.3%減（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-6.7%）でした。FICC事業の営業収益は、4,053百万ユーロとなり、前年同期比5.4%減でした。これは、低調な事業環境において、特に金利・為替商品およびコモディティにおいて、前四半期および当四半期に取引がさらに正常化したためでした。株式・プライムサービス事業の営業収益は2,423百万ユーロとなり、特に前四半期および当四半期における株式市場の低迷を受けて、10.3%減少しました。

証券管理事業の営業収益は、当第3四半期累計期間において2,007百万ユーロとなり、前年同期比5.2%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+7.1%）でした。その要因は、高金利環境による好影響および平均残高の増加でしたが、取引高の減少の影響により一部相殺されました。

CIB部門の営業費用は、当第3四半期累計期間において8,083百万ユーロとなり、前年同期比1.5%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+3.1%）でした。これは、事業開発支援によるものでした。ジョーズ効果は、全体的にプラスで、グローバル・バンキング事業および証券管理事業では極めて高水準でした。

¹ 欧州、中東、アフリカ



これらを受けて、CIB部門の営業総利益は、当第3四半期累計期間において**4,684**百万ユーロとなり、前年同期比**1.9%**増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと**+2.3%**）でした。

CIB部門では、正常債権（ステージ1および2）に対する引当金の戻入および不良債権（ステージ3）に対する低水準のリスク費用により、当第3四半期累計期間において**125**百万ユーロの引当金戻入が行われました。グローバル・バンキング事業では、**132**百万ユーロの引当金戻入が行われ、リスク費用は顧客向け融資残高の**-10**ベーシスポイント相当となりました。

以上から、CIB部門の税引前利益は、当第3四半期累計期間において**4,789**百万ユーロに達し、前年同期比**7.7%**増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと**+8.0%**）の大幅増益となりました。

*
* *



コマーシャル&個人向けバンキングサービス (CPBS) 部門

CPBS部門は、取引が増加し、プラスのジョーズ効果を達成しました。融資残高は、前年同期比2.1%増(2021年度第3四半期比+9.5%)でした。ユーロ圏のコマーシャル&個人向けバンキング事業ではほぼ横ばい(-0.6%)、専門的金融事業では大幅に増加しました。預金残高は、前年同期比3.2%減でしたが、長期的には増加しました(2021年度第3四半期比+3.7%)。プライベートバンキングへの当四半期の資金純流入は旺盛で、4.3十億ユーロに達し、2023年初来では13.8十億ユーロでした。Hello Bank!の新規顧客数は、2022年9月30日現在と比較して17.8%増となり、Nickelにおける口座開設は非常に好調なペースで進みました(2022年9月30日現在と比較して+24.7%)。

2023年度第3四半期において、営業収益¹は、6,754百万ユーロとなり、前年同期比6.1%増の大幅増収でした。その要因は、コマーシャル&個人向けバンキング事業における大幅増収(+7.4%)、正味利息収益の大幅な増加(+11.6%)および専門的金融事業における増収(+4.1%、パーソナル・ファイナンスを除くと+14.2%)でした。

営業費用¹は、当四半期において3,948百万ユーロとなり、前年同期比4.8%増でした。ジョーズ効果はプラス(+1.3ポイント)で、コマーシャル&個人向けバンキング事業およびアルパルとリーシング・ソリューションズに牽引されました。

営業総利益¹は、当四半期において2,806百万ユーロとなり、前年同期比8.0%増の大幅増益でした。

リスク費用¹は、当四半期において762百万ユーロ(前年同期は681百万ユーロ)でした。

以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業(IPS部門)へ配分した後のCPBS部門の税引前利益²は、当四半期において1,931百万ユーロとなり、前年同期比2.2%減でした。営業総利益¹の大幅な増加は、トルコのハイパーインフレ³により「その他の営業外項目」に生じた影響により、税引前利益¹において相殺されました。

2023年度第3四半期累計期間(1-9月)において、営業収益¹は、20,202百万ユーロとなり、前年同期比5.1%増でした。その要因は、コマーシャル&個人向けバンキング事業の好調な業績、およびArvalの非常に力強い伸びを含む専門的金融事業の伸びでした。営業費用¹は、コスト節減策により抑制され、前年同期比3.3%増の12,309百万ユーロでした。ジョーズ効果はプラス(+1.8ポイント)で、コマーシャル&個人向けバンキング事業のジョーズ効果(+3.1ポイント)が貢献しました。これらを受けて、営業総利益¹は、7,893百万ユーロとなり、前年同期比7.9%増の大幅な増益でした。リスク費用¹は、2,146百万ユーロ(前年同期は1,892百万ユーロ)でした。以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業(IPS部門)へ配分した後のCPBS部門の税引前利益²は、当第3四半期累計期間において5,682百万ユーロに達し、前年同期比0.9%増でした。営業総利益¹の増加は、トルコのハイパーインフレ³により「その他の営業外項目」に生じた影響により、税引前利益¹において一部相殺されました。

¹ プライベートバンキングの100%を含む(フランスのPEL/CELの影響を除く)

² プライベートバンキングの3分の2を含む(フランスのPEL/CELの影響を除く)

³ トルコにおけるIAS第29号の適用およびヘッジ効率の影響



フランスのコマーシャル&個人向けバンキング (CPBF)

CPBFはよく持ちこたえ、利鞘も徐々に改善しました。融資残高は、ほぼ横ばい（前年同期比-0.2%）で、利鞘調整は引き続き行われました。預金残高は、前年同期比4.5%減でしたが、利鞘が持ちこたえ、有利子商品¹への移行が鈍化したことで、横ばい（前四半期比-0.5%）となりました。オフバランス貯蓄商品は、2022年9月30日現在と比較して9.1%増でした。プライベートバンキングへの当四半期の資金純流入は、1.6十億ユーロと好調で、2023年初来では5.6十億ユーロでした。

2023年度第3四半期において、営業収益²は、1,602百万ユーロとなり、前年同期比3.2%減でした。正味利息収益²は、5.9%減少しましたが、インフレ・ヘッジの影響を除くと3.1%増加しました。手数料²は、キャッシュマネジメント手数料および決済手数料が好調であったことから、横ばい（-0.2%）でした。

営業費用²は、当四半期において1,133百万ユーロでした。これは、継続的なコスト節減策によるものでした。

営業総利益²は、当四半期において469百万ユーロとなり、前年同期比10.3%減でした。

リスク費用²は、当四半期において117百万ユーロ（前年同期は102百万ユーロ）でした。これは、正常債権（ステージ1および2）に対する引当金の繰入および前四半期と比較して不良債権（ステージ3）に対する引当金が減少したことを反映しています。リスク費用は、顧客向け融資残高の20ベースポイント相当でした。

以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（IPS部門）へ配分した後のCPBFの税引前利益³は、当四半期において309百万ユーロに達し、前年同期比19.7%減でした。

2023年度第3四半期累計期間（1-9月）において、営業収益²は、4,988百万ユーロとなり、前年同期比0.3%増でした。正味利息収益²は、リファイナンス費用が増加したにもかかわらず、預金の利鞘が持ちこたえたため、前年同期比0.6%増でした。手数料²は、横ばいでした。銀行手数料（特に決済手数料およびキャッシュマネジメント手数料）の増加は、金融手数料の減少により相殺されました。営業費用²は、コスト節減策により抑制され、前年同期比1.0%増の3,523百万ユーロでした。営業総利益²は、1,465百万ユーロとなり、前年同期比1.3%減でした。リスク費用²は、343百万ユーロ（前年同期は259百万ユーロ）となり、顧客向け融資残高の20ベースポイント相当でした。これには、特定案件の影響が計上されています。以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（IPS部門）へ配分した後のCPBFの税引前利益³は、当第3四半期累計期間において998百万ユーロとなり、前年同期比12.6%減でした。これは、2022年度第3四半期の「営業外項目」が高水準であったこと、および特定案件に関連してリスク費用が増加したことによるものでした。

¹ 普通預金および市場金利預金

² プライベートバンキングの100%を含む（PEL/CELの影響を除く）

³ プライベートバンキングの3分の2を含む（PEL/CELの影響を除く）



BNLバンカ・コメルシアーレ (BNL bc)

BNL bcは力強い業績の伸びを達成しました。融資残高は、前年同期比6.2%減となり、不良債権を除くと5.0%減となりました。個人向け貸出は安定的に推移し、法人向け貸出は減少しましたが、利鞘は改善しました。預金残高は、前年同期比では2.1%減少しましたが、2023年度第1四半期比では1.2%増加しました。オフバランス貯蓄商品は、2023年6月30日現在と比較して3.6%減でした。プライベートバンキングへの資金純流入は、当四半期（1.0十億ユーロ）および年初来（3.0十億ユーロ）ともに非常に好調で、法人顧客セグメントとのシナジーに牽引されました。

2023年度第3四半期において、営業収益¹は、前年同期比1.2%増の660百万ユーロとなりました。正味利息収益は、堅調な預貸利鞘に支えられ、4.2%増加しましたが、リファイナンス費用の増加により一部相殺されました。手数料は3.0%減少しましたが、これは金融手数料の減少と銀行手数料の堅調な回復に関連しています。

営業費用¹は、当四半期において448百万ユーロとなり、前年同期比+1.8%増に抑えられました。

これらを受けて、営業総利益¹は、当四半期において213百万ユーロとなり、前年同期比0.1%増でした。

リスク費用¹は、当四半期において98百万ユーロとなり、前年同期比15百万ユーロの削減となりました。BNL bcは、当四半期の不良債権売却の影響を除いた場合、個人および法人向け貸出の双方において、不良債権（ステージ3）に対する引当金の大幅かつ継続的な削減を達成しました。リスク費用は、顧客向け融資残高の51ベースポイント相当で、低水準にとどまりました。

以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（IPS部門）へ配分した後のBNL bcの税引前利益²は、当四半期において110百万ユーロとなり、前年同期比16.3%増の力強い伸びを達成しました。

2023年度第3四半期累計期間（1-9月）において、営業収益¹は、前年同期比2.3%増の2,023百万ユーロとなりました。正味利息収益¹は、主に金利環境の好影響と、リファイナンス費用が増加したにもかかわらず預貸利鞘が持ちこたえたことに牽引され、前年同期比4.5%増でした。法人顧客向けのエネルギー移行支援により、法人顧客における営業収益の伸びは顕著でした。手数料¹は、ほぼ横ばい（前年同期比-0.8%）で、銀行手数料の増加により牽引されました。営業費用¹は、前年同期比2.3%増の1,339百万ユーロとなり、インフレの影響を一部相殺する業務効率化対策の効果によって抑制されました。営業総利益¹は、前年同期比2.2%増の683百万ユーロとなりました。リスク費用¹は、277百万ユーロとなり、前年同期比74百万ユーロの大幅な削減となり、顧客向け融資残高の47ベースポイント相当でした。以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（IPS部門）へ配分した後のBNL bcの税引前利益²は、当第3四半期累計期間において387百万ユーロとなり、リスク費用の減少により、前年同期比29.4%増の大幅な増益でした。

¹ プライベートバンキングの100%を含む

² プライベートバンキングの3分の2を含む



ベルギーのコマーシャル&個人向けバンキング (CPBB)

CPBBの当四半期の純利益は大幅に増加し、ジョーズ効果は極めて高水準となりました。融資残高は、法人向け貸出を含むすべてのセグメントでの貸出の増加により、前年同期比2.1%増となりました。預金残高は前年同期比2.1%減少しました（2024年9月に満期となるベルギー国債の発行による影響を除くと前年同期比-0.7%¹）。オフバランス貯蓄商品は、ミューチュアル・ファンドに牽引され、2022年9月30日現在と比較して1.1%増でした。プライベートバンキングへの資金純流入は、好調（2023年初来では2.7十億ユーロ）でした。

2023年度第3四半期において、営業収益²は、1,014百万ユーロとなり、前年同期比10.7%増の大幅な増加でした。正味利息収益²は、リファイナンス費用が増加したにもかかわらず、利鞘が持ちこたえ、前年同期比14.9%増の大幅な増加でした。手数料²は、特にベルギー国債の引受けによる金融手数料の増加に支えられ、前年同期比1.0%増でした。

営業費用²は、当四半期において591百万ユーロとなり、前年同期比5.8%増となりました。ジョーズ効果は、営業費用が抑制されたことによりインフレの影響が一部相殺され、極めて高水準（+4.8ポイント）でした。

営業総利益²は、当四半期において424百万ユーロとなり、前年同期比18.1%増の大幅な増益となりました。

リスク費用²は、当四半期において22百万ユーロとなり、顧客向け融資残高の6ベースポイント相当と極めて低い水準でした。

以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（IPS部門）へ配分した後のCPBBの税引前利益³は、当四半期において379百万ユーロとなり、前年同期比16.4%増の大幅な増加でした。

2023年度第3四半期累計期間（1-9月）において、営業収益²は、3,036百万ユーロとなり、前年同期比7.8%増の大幅な増加でした。正味利息収益²は、リファイナンス費用が増加したにもかかわらず、利鞘が持ちこたえ、11.4%増と大幅に増加しました。手数料²は、0.3%減と僅かに減少しました。金融手数料の増加は、銀行手数料の減少により相殺されました。営業費用²は、インフレの影響を一部相殺するコスト節減策により増加は抑制され、2,104百万ユーロとなり、前年同期比4.4%増でした。ジョーズ効果は極めて高水準でした（+3.4ポイント）。営業総利益²は、932百万ユーロとなり、16.4%増の大幅な増益でした。リスク費用²は、50百万ユーロ（前年同期は16百万ユーロ）と、顧客向け融資残高の5ベースポイント相当の低水準にとどまりました。以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（IPS部門）へ配分した後のCPBBの税引前利益³は、当第3四半期累計期間に825百万ユーロに達し、前年同期比10.4%増の大幅な増益となりました。これは、営業総利益の堅調な増加に牽引されましたが、前年同期の低水準に比べたリスク費用の増加（2022年度上半期における引当金の戻入を含みます。）によって一部相殺されました。

¹ オフバランス顧客資産に含まれるがオフバランス貯蓄商品には含まれない証券口座の残高増加（期末において+5.1十億ユーロ増）により相殺された-6.9十億ユーロ減の期末預金残高の影響。

² プライベートバンキングの100%を含む

³ プライベートバンキングの3分の2を含む



ルクセンブルクのコマーシャル&個人向けバンキング (CPBL)

CPBLの当四半期の純利益は大幅に増加しました。融資残高は、法人向け貸出および住宅ローンの増加により、前年同期比0.8%増となりました。預金残高は、前年同期比7.1%減となりました。

2023年度第3四半期において、営業収益¹は、152百万ユーロとなり、前年同期比31.0%増と大幅に増加しました。正味利息収益は、融資残高が増加したことに加え、特に法人顧客の預貸利鞘が持ちこたえたことにより、前年同期比37.6%増と大幅に増加しました。手数料は、前年同期比2.7%増でした。

営業費用¹は、当四半期において71百万ユーロとなり、事業開発支援により、前年同期比14.5%増と大幅に増加しました。ジョーズ効果は非常に高水準(+16.5ポイント)でした。

営業総利益¹は、当四半期において81百万ユーロとなり、前年同期比50.1%増と大幅な増益でした。

リスク費用¹は、当四半期において4百万ユーロと極めて低い水準でした(前年同期は3百万ユーロの戻入)。

以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業(IPS部門)へ配分した後のCPBLの税引前利益²は、当四半期において76百万ユーロ(前年同期は56百万ユーロ)に達し、前年同期比34.2%増と堅調に増加しました。

2023年度第3四半期累計期間(1-9月)において、営業収益¹は、前年同期比28.3%増と大幅に増加し、442百万ユーロとなりました。正味利息収益¹は、融資残高が増加したことに加え、特に法人顧客の預貸利鞘が持ちこたえたことにより、前年同期比36.4%増と大幅に増加しました。手数料¹は、高水準であった2022年度比1.8%減でした。営業費用¹は、228百万ユーロとなり、前年同期比9.7%増でした。ジョーズ効果は非常に高水準(+18.7ポイント)でした。リスク費用¹は、6百万ユーロと極めて低い水準でした。以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業(IPS部門)へ配分した後のCPBLの税引前利益²は、当第3四半期累計期間において203百万ユーロに達し、前年同期比39.8%増と大幅に増加しました。

欧州・地中海沿岸諸国

欧州・地中海沿岸諸国の当四半期の純利益は大幅に増加し、ジョーズ効果は非常に高水準でした。融資残高は、前年同期比で横ばい³で、特にポーランドの法人顧客向け貸出が増加しました。ローン組成は、トルコにおいて、またポーランドの個人顧客向けに慎重かつ的を絞ったものとなっています。預金残高は、前年同期比4.4%増³で、ポーランドにおいて増加しました。

2023年度第3四半期において、欧州・地中海沿岸諸国の営業収益¹は、809百万ユーロとなり、前年同期比38.2%増⁴と大幅に増加しました。トルコのハイパーインフレ⁵の影響を除くと、ポーランドで正味利息収益が大幅に増加したことにより19.5%増⁴となりました。

営業費用¹は、当四半期において455百万ユーロとなり、前年同期比21.0%増⁴でした。トルコのハイパーインフレ⁵の影響を除くと、高インフレにより、8.9%増⁴でした。

営業総利益¹は、当四半期において354百万ユーロに達し、前年同期比69.2%増の大幅な増益でした(トルコのハイパーインフレ⁵の影響により、前年同期比+67百万ユーロ)。

リスク費用⁶は、当四半期において50百万ユーロでした(前年同期は55百万ユーロ)。リスク費用は、顧客向け融資残高の57ベースポイント相当で、横ばいでした。

¹ プライベートバンキングの100%を含む

² プライベートバンキングの3分の2を含む

³ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

⁴ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く。ただし、トルコについてはIAS第29号の適用により、為替レート変動による影響を含む

⁵ 2023年1月1日以降のトルコにおけるIAS第29号の適用およびヘッジ効果の影響

⁶ プライベートバンキングの100%を含む



以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（IPS部門）へ配分した後の欧州・地中海沿岸諸国の税引前利益¹は、当四半期において238百万ユーロに達し、前年同期比9.6%増²の大幅な増益となりました。

トルコのハイパーインフレ³の影響により、営業総利益⁴は前年同期比+67百万ユーロとなりましたが、「その他の営業外項目」⁴の減少（前年同期比-119百万ユーロ）により相殺されています。背景には、高インフレおよびトルコリラが対ユーロで安定していたこと⁵がありました。

2023年度第3四半期累計期間（1-9月）において、営業収益⁴は、2,060百万ユーロとなり、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと前年同期比18.8%増と大幅に増加しました。トルコのハイパーインフレ³の影響を除くと、18.6%増²で、ポーランドにおいて、正味利息収益が大幅に増加したことに起因しています。営業費用⁴は、1,235百万ユーロとなり、前年同期比5.3%増²でした。トルコのハイパーインフレ³の影響を除くと、5.1%増²で、高い賃金インフレに起因しています。ジョーズ効果はプラスでした。営業総利益⁴は、前年同期比47.4%増²と大幅に増加し、825百万ユーロとなりました。リスク費用⁴は、155百万ユーロに増加し（前年同期は143百万ユーロ）、顧客向け融資残高の58ベースポイント相当となりました。前年同期には、ポーランドの「債務者支援法」による一時的影響が130百万ユーロ含まれていました。以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（IPS部門）へ配分した後の欧州・地中海沿岸諸国の税引前利益¹は、当第3四半期累計期間において751百万ユーロに達し、前年同期比12.8%増²と大幅に増加しました。トルコのハイパーインフレ³の影響により、「その他の営業外項目」⁴は減少しました（前年同期比-135百万ユーロ⁴）。

専門的金融事業－パーソナル・ファイナンス

パーソナル・ファイナンスは、事業の転換を継続して実施しています。融資残高は、モビリティ部門の力強い伸びに牽引され、前年同期比11.5%増加しました。組成時の利鞘には引き続き圧力がかかっていましたが、前四半期比で改善しました。自動車ローンのパートナーシップが引き続き推進され、自動車ローン取扱高の増加およびリスクプロファイルの構造的改善に貢献しました。業務の地理的な重点地域の転換およびオペレーティングモデルの再編成は順調に進んでいます。

2023年度第3四半期において、営業収益は、1,292百万ユーロとなり、前年同期比3.9%減（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-2.4%）でした。これは、取引高は増加したものの、利鞘が減少したことに起因しています。

営業費用は、目標を絞った開発プロジェクトに関連して、当四半期において713百万ユーロとなり、前年同期比3.5%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+5.0%）でした。

営業総利益は、当四半期において580百万ユーロとなり、前年同期比11.7%減でした。

リスク費用は、当四半期において397百万ユーロ（前年同期は336百万ユーロ）となりました。不良債権についてのリスク費用は前四半期比で横ばいでしたが、正常債権（ステージ1および2）に対する引当金の戻入が減少しました。リスク費用は、顧客向け融資残高の147ベースポイント相当でした。

以上から、パーソナル・ファイナンスの税引前利益は、当四半期に197百万ユーロに上り、前年同期比42.1%減でした。

2023年度第3四半期累計期間（1-9月）において、営業収益は、取引高増加による効果があったものの、利鞘への圧力の影響があったため、3,907百万ユーロとなり、前年同期比3.9%減²でした。営業費用は、目標を絞った開発プロジェクトに伴って2,256百万ユーロとなり、前年同期比4.1%増²でした。営業総利益は、前年同期比13.1%減²で、1,650百万ユーロとなりました。リスク費用は、1,117百万ユーロ（前年同期は960百万ユーロ）となり、顧客向け融資残高の146ベースポイント相当でした。以上から、パーソナル・ファイナンス

¹ プライベートバンキングの3分の2を含む

² 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

³ 2023年1月1日以降のトルコにおけるIAS第29号の適用およびヘッジ効果の影響

⁴ プライベートバンキングの100%を含む

⁵ TRY/EUR為替レート（2023年6月30日比-1.9%）および消費者物価指数（CPI）25%上昇の当四半期への影響は低水準



スの税引前利益は、当第3四半期累計期間において609百万ユーロに上り、前年同期比39.7%減¹でした。これは、営業総利益の減少およびリスク費用の増加によるものでした。前四半期において、パーソナル・ファイナンスの税引前利益には「その他の営業外項目」内の非経常的項目のプラスの影響が含まれていました。

専門的金融事業—アルバルとリーシング・ソリューションズ

アルバルとリーシング・ソリューションズの業績は、当四半期も極めて好調で、ジョーズ効果はプラスでした。

アルバルのファイナンスフリートの契約台数は1.7百万台²に上り、非常に好調でした（2022年9月30日現在と比較して+9.7%³）。注文数は、2022年9月30日現在と比較して、+4.7%増でした。

リーシング・ソリューションズのファイナンスリース残高は、当四半期において23.7十億ユーロで、前年同期比5.4%増¹でした。BMO Financial Groupとの戦略的パートナーシップの始動により、ベンダー・ファイナンス部門⁴でのパートナーシップが進展しています。

2023年度第3四半期において、アルバルとリーシング・ソリューションズの営業収益は、958百万ユーロとなり、前年同期比9.6%増の大幅な増収でした。これは、高水準だった中古車価格が徐々に正常化したにもかかわらず、ファイナンスフリートの伸びに関連してアルバルの営業収益が力強く伸びたこと（+11.9%）、またファイナンスリース残高の増加によりリーシング・ソリューションズの営業収益も伸びたことが寄与しました。

営業費用は、当四半期において367百万ユーロとなり、前年同期比7.8%増でした。ジョーズ効果はプラス（+1.8ポイント）でした。

営業総利益は、当四半期において591百万ユーロとなり、前年同期比10.8%増の大幅な増益でした。

以上から、アルバルとリーシング・ソリューションズの税引前利益は、当四半期において557百万ユーロとなり、前年同期比11.0%増の大幅な増益でした。

2023年度第3四半期累計期間（1-9月）において、営業収益は、2,986百万ユーロとなり、前年同期比15.7%増の大幅な増益でした。これは、高水準だった中古車価格が徐々に正常化したにもかかわらず、ファイナンスフリートの伸びによりアルバルが極めて好調な業績であったこと、およびリーシング・ソリューションズの営業収益の伸びが牽引しました。営業費用は、1,128百万ユーロとなり、前年同期比7.6%増でした。ジョーズ効果は極めて高水準（+8.1ポイント）でした。以上から、アルバルとリーシング・ソリューションズの税引前利益は、当第3四半期累計期間において1,732百万ユーロに達し、前年同期比18.1%増の大幅な増益でした。これには、トルコのハイパーインフレ⁵の影響により「その他の営業外項目」に生じた影響が含まれています。

専門的金融事業—ニューデジタル事業と個人投資家事業

ニューデジタル事業と個人投資家事業は、新規顧客獲得の原動力となっています。

Nickelは、ドイツでのローンチを皮切りに、2021年にスペイン、2022年にベルギーおよびポルトガルでローンチし、欧州で展開を続けました。Nickelの口座開設は着実な増加を維持し（1ヶ月間に約64,000口座）、2023年9月30日現在の口座開設数は約3.6百万⁶に上り、2022年9月30日現在と比較して25%増となりました。

Floaは、積極的なパートナーシップの数を当年度にこれまで倍以上に増加させました。Floaのローン組成水準は好調で、融資基準は厳格化しました。

個人投資家事業では、運用資産残高が2022年9月30日現在と比較して9.5%増でした。その要因は、顧客数の増加（2022年9月30日現在と比較して+5.9%）でした。

¹ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

² 期末におけるフリート契約台数

³ Terberg Business LeaseおよびBCRの買収による影響を除くと+7.0%

⁴ 金融資産販売のためのソリューション

⁵ トルコにおけるIAS第29号の適用およびヘッジ効果の影響

⁶ すべての国の合計（設立来）



2023年度第3四半期において、ニューデジタル事業と個人投資家事業の営業収益¹は、266百万ユーロとなり、前年同期比35.0%増の大幅な増収でした。増収要因は、ニューデジタル事業において増加したこと、および金利環境により個人投資家事業の営業収益が大幅に増加したことでした。

営業費用¹は、事業開発支援により、当四半期において170百万ユーロとなり、前年同期比13.8%増でした。ジョーズ効果は極めて高水準（+21.2ポイント）でした。

営業総利益¹は、当四半期において倍増し、96百万ユーロとなりました。

リスク費用¹は、当四半期において29百万ユーロ（前年同期は23百万ユーロ）でした。

以上から、ドイツ国内プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（IPS部門）へ配分した後のニューデジタル事業と個人投資家事業の税引前利益²は、当四半期において64百万ユーロ（前年同期は22百万ユーロ）となりました。

2023年度第3四半期累計期間（1-9月）において、営業収益¹は、個人投資家事業とニューデジタル事業の非常に力強い増収に牽引され、760百万ユーロとなり、前年同期比22.9%増の大幅な増収でした。営業費用¹は、事業部門の開発戦略により494百万ユーロとなり、前年同期比17.5%増でした。ジョーズ効果はプラス（+5.4ポイント）でした。営業総利益¹は、267百万ユーロとなり、前年同期比34.5%増の大幅な増益でした。リスク費用¹は、81百万ユーロ（前年同期は58百万ユーロ）でした。ドイツ国内プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（IPS部門）へ配分した後のニューデジタル事業と個人投資家事業の税引前利益²は、当第3四半期累計期間において177百万ユーロとなり、前年同期比33.5%増の大幅な増益でした。

*
* *

¹ ドイツ国内プライベートバンキングの100%を含む

² ドイツ国内プライベートバンキングの3分の2を含む



インベストメント&プロテクションサービス (IPS) 部門

IPS部門の業績は、対照的な環境下でもよく持ちこたえました。保険事業の業績は、大幅に成長し、保障保険業務およびパートナーシップからの拠出金の増加に支えられました。ウェルス・マネジメント事業は、営業収益の力強い伸びおよび特にコマーシャル&個人向けバンキング事業における好調な資金純流入（2023年初来では+13.7十億ユーロ）を達成しました。アセット・マネジメント事業¹の本源的業績は好調で、国際的な資金純流入（当第3四半期累計期間において+11.3十億ユーロ）に牽引されました。不動産管理事業は低調な事業環境で、プリンシパル・インベストメンツの業績は、2022年度の高水準な業績とは対照的でした。

2023年9月30日現在、運用資産残高²は、1,204十億ユーロでした。これは、+13.2十億ユーロの市場動向の影響および+23.3十億ユーロの堅調な資金純流入の影響でしたが、-1.9十億ユーロの不利な為替レートの影響により一部相殺されました。資金純流入は、堅調かつ持続的で、特にアセット・マネジメント事業ではマネー・マーケット・ファンドが好調で、ウェルス・マネジメント事業では資金純流入が非常に好調でした。運用資産残高²は、2022年9月30日現在と比較して4.1%増となりました。

2023年9月30日現在、運用資産残高²の内訳は、アセット・マネジメント事業および不動産管理事業の551十億ユーロ、ウェルス・マネジメント事業の408十億ユーロならびに保険事業の245十億ユーロでした。

2023年度第3四半期において、IPS部門の営業収益は、1,420百万ユーロとなり、前年同期比2.6%減でした。当四半期の営業収益は、不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツの拠出金を除くと4.5%増でした。保険事業の増収(+4.3%)、ウェルス・マネジメント事業の増収(+9.1%)およびアセット・マネジメント事業の増収(マイナスのベース効果を除くと+2.6%¹)に牽引されました。

営業費用は、当四半期において884百万ユーロで、ほぼ横ばいでした(+0.1%)。ジョーズ効果は、不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツにおける現在の景気後退の影響を除くとプラス(+4.3ポイント)でした。

営業総利益は、当四半期において536百万ユーロとなり、前年同期比6.8%減でした。

以上から、IPS部門の税引前利益は、当四半期において606百万ユーロとなり、前年同期比6.7%減でした。これには、前年同期のウェルス・マネジメント事業における売却による譲渡益が含まれています。当四半期の税引前利益は、不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツの拠出金を除くと、12.3%増の大幅増益でした。

2023年度第3四半期累計期間（1-9月）において、営業収益は前年同期比0.6%減（不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツの拠出金を除くと+5.5%）でした。これは、ウェルス・マネジメント事業および保険事業における大幅な増収ならびにアセット・マネジメント事業¹の堅調な営業収益に牽引されました。これには、ベース効果および低調な事業環境により、不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツの営業収益が大幅に減少したことが含まれていました。営業費用は、2,660百万ユーロとなり、前年同期比2.5%増（不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツの拠出金を除くと+3.1%）でしたが、増加は主にコスト節減策により抑制されました。ジョーズ効果は、不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツにおける現在の景気後退の影響を除くと、プラス(+2.4ポイント)でした。営業総利益は、1,599百万ユーロとなり、前年同期比5.3%減でした。IPS部門の税引前利益は、当第3四半期累計期間において1,792百万ユーロとなり、前年同期比5.1%減（不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツの拠出金を除くと+9.2%）でした。前年同期には、保険事業およびウェルス・マネジメント事業における売却による譲渡益ならびにアセット・マネジメント事業における合弁事業の設立の影響が含まれていました。

¹ 不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツを除く

² 分配金を含む



保険事業

保険事業の業績は非常に好調でした。貯蓄型保険業務は、2023年初来では17.1十億ユーロの総資金流入を達成し、ユニットリンク商品への資金流入に支えられ、フランスでの資金純流入はプラスとなりました。保障保険業務は、フランス国内および国際的に、アフィニティ保険および損害保険において引き続き好調でした。パートナーシップによる拠出金は増加しました。

2023年度第3四半期において、保険事業の営業収益は、536百万ユーロとなり、前年同期比4.3%増でした。これは、主に保障保険業務の好調な業績（特にフランスおよびイタリア）に牽引されました。

保険事業の営業費用は、当四半期において202百万ユーロとなり、前年同期比1.7%増でした。ジョーズ効果は極めて高水準（+2.6ポイント）でした。

保険事業の税引前利益は、当四半期において411百万ユーロとなり、前年同期比22.2%増の非常に堅調な伸びを達成しました。これには、当四半期における全地域の関連会社による大幅な増益が含まれています。

2023年度第3四半期累計期間（1-9月）において、営業収益は、保障保険業務の好調な数字および保険引受利益の向上に牽引され、前年同期比6.6%増の1,617百万ユーロとなりました。営業費用は、進行中の目標を絞ったプロジェクトに牽引され、608百万ユーロとなり、前年同期比1.9%増でした。保険事業の税引前利益は、当第3四半期累計期間において1,192百万ユーロとなり、前年同期比18.3%増の大幅な増益でした。これには、全地域の関連会社による拠出金の増加が含まれていました。

ウェルス&アセット・マネジメント事業¹

ウェルス&アセット・マネジメント事業¹における取引は全体的に堅調でしたが、業績は対照的でした。ウェルス・マネジメント事業は、特にコマーシャル&個人向けバンキング事業において、好調な資金純流入（当四半期において4.2十億ユーロ）があり、改善しました。利鞘が持ちこたえ、取引手数料は増加しました。アセット・マネジメント事業は、2023年度上半期において持続的な資金流入があった後、当四半期後半には中長期アクティブ運用ファンドからの撤退による資金純流出（当四半期において-3.2十億ユーロ）が発生しましたが、パッシブ運用ファンドへの資金純流入により、一部相殺されました。不動産管理事業の業績は、低調な事業環境により大幅に減速し、プリンシパル・インベストメンツの業績は高水準であった2022年度とは対照的でした。

2023年度第3四半期において、ウェルス&アセット・マネジメント事業の営業収益は、884百万ユーロとなり、前年同期比6.4%減でしたが、不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツにおける現在の景気後退の影響を除くと増収(+4.6%)でした。ウェルス・マネジメント事業は、大幅な増収を達成しましたが(+9.1%)、アセット・マネジメント事業の営業収益²は、マイナスのベース効果を除くと2.6%増でした。不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツの営業収益は、大幅な減収でした。

ウェルス&アセット・マネジメント事業の営業費用は、当四半期において681百万ユーロとなり、前年同期比0.4%減でした。ジョーズ効果は、不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツにおける現在の景気後退の影響を除くと、プラス(+5.0ポイント)でした。

以上から、ウェルス&アセット・マネジメント事業の税引前利益は、当四半期において195百万ユーロとなり、前年同期比37.8%減（不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツの拠出金を除くと-4.8%）でした。前年同期には、ウェルス・マネジメント事業における売却による譲渡益のプラスの影響が含まれています。

2023年度第3四半期累計期間（1-9月）において、営業収益は、前年同期比4.6%減（不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツの拠出金を除くと+4.6%）の2,642百万ユーロとなりました。これは、ウェルス・マネジメント事業の非常に好調な業績およびアセット・マネジメント事業の堅調な営業収益により牽引されました。不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツの営業収益は、ベース効果および低調な事業環境により大幅に減少しました。営業費用は、2,052百万ユーロとなり、前年同期比2.6%増（不

¹ ウェルス・マネジメント事業、アセット・マネジメント事業、不動産管理事業、プリンシパル・インベストメンツ

² 不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツを除く



動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツの拠出金を除くと+3.6%)でしたが、特にコスト節減策により抑制されました。ジョーズ効果は、不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツにおける現在の景気後退の影響を除くとプラス(+1.0ポイント)でした。以上から、ウェルス&アセット・マネジメント事業の税引前利益は、当第3四半期累計期間において600百万ユーロとなり、前年同期比31.9%減でした。これは、ウェルス・マネジメント事業における売却による譲渡益の影響およびアセット・マネジメント事業における合弁事業の設立の影響を含み、高水準であった前年同期と比較したものです。

*
* *

コーポレート・センター

IFRS第17号「保険契約」は、2023年1月1日からIFRS第4号「保険契約」を置き換えました。IFRS第17号は、保険事業に関するIFRS第9号の施行と同時に効力が発生しました。

主な効果は以下の通りです。

- 「保険事業に帰属する」とみなされる営業費用は、営業収益から差し引いて計上され、営業費用としては計上されません。これらの会計項目は、保険契約を販売する保険事業および当グループの事業体（保険事業を除く）（すなわち内部の販売会社）にのみ適用され、営業総利益には影響を与えません。内部の販売会社に対するこれらの項目の影響は、業績の読み方を混乱させないためにコーポレート・センターにおいて示されています。
- 一部の資産の純損益を通じた公正価値会計（IFRS第9号）により生じるボラティリティの影響は、コーポレート・センターにおいて示されるため、保険事業の営業収益に影響はありません。

2023年1月1日現在、コーポレート・センターには修正再表示が含まれており、より読みやすくするために各四半期に個別に報告されます。

2023年度第3四半期において、コーポレート・センターにおける保険事業に関連する修正再表示による営業収益は、-239百万ユーロとなりました（前年同期は-280百万ユーロ）。これには、内部の販売会社の「帰属」営業費用の修正再表示による影響額として-236百万ユーロ（前年同期は-249百万ユーロ）および資産の純損益を通じた公正価値会計（IFRS第9号）により生じる保険事業におけるボラティリティによる影響額として-2百万ユーロ（前年同期は-31百万ユーロ）が含まれています。

コーポレート・センターの保険事業に関連する修正再表示による営業費用は、当四半期において-236百万ユーロ（前年同期は-249百万ユーロ）となりました。

以上から、コーポレート・センターの保険事業に関連する修正再表示による税引前利益は、当四半期において-2百万ユーロ（前年同期は-31百万ユーロ）となりました。

2023年度第3四半期累計期間（1-9月）において、コーポレート・センターにおける保険事業に関連する修正再表示による営業収益は、-809百万ユーロとなりました（前年同期は-1,056百万ユーロ）。これには、内部の販売会社の「帰属」営業費用の修正再表示による影響額として-757百万ユーロ（前年同期は-759百万ユーロ）および資産の純損益を通じた公正価値会計（IFRS第9号）により生じる保険事業におけるボラティリティによる影響額として-51百万ユーロ（前年同期は-297百万ユーロ）が含まれています。コーポレート・センターの保険事業に関連する修正再表示による営業費用は、-757百万ユーロとなりました（前年同期は-759百万ユーロ）。以上から、コーポレート・センターの保険事業に関連する修正再表示による税引前利益は、当第3四半期累計期間において-51百万ユーロ（前年同期は-297百万ユーロ）となりました。

2023年度第3四半期において、コーポレート・センターの営業収益（保険事業に関連する修正再表示を除く）は、-65百万ユーロとなりました（前年同期は-43百万ユーロ）。これには、2022年度第4四半期に欧州中央



銀行が決定したTLTROの条件変更に伴うヘッジ調整による一時的影響額-58百万ユーロが含まれています。また、デリバティブに含まれる自己勘定の信用リスク再評価（DVA）による22百万ユーロ（前年同期は94百万ユーロ）も含まれています。

コーポレート・センターの営業費用（保険事業に関連する修正再表示を除く）は、当四半期において220百万ユーロ（前年同期は222百万ユーロ）となりました。これには、一時項目による影響として、事業再編費用と事業適応費用が40百万ユーロ（前年同期は32百万ユーロ）およびIT強化費用が87百万ユーロ（前年同期は93百万ユーロ）含まれています。

コーポレート・センターのリスク費用（保険事業に関連する修正再表示を除く）は、当四半期において7百万ユーロとなりました。前年同期は126百万ユーロでした。これには、ポーランドの「債務者支援法」による一時的影響（204百万ユーロ）が含まれています。

コーポレート・センターのその他の営業外項目（保険事業に関連する修正再表示を除く）は、当四半期において19百万ユーロ（前年同期は17百万ユーロ）となりました。

以上から、コーポレート・センターの税引前利益（保険事業に関連する修正再表示を除く）は、当四半期において-273百万ユーロ（前年同期は-374百万ユーロ）となりました。

2023年度第3四半期累計期間（1-9月）において、コーポレート・センターの営業収益（保険事業に関連する修正再表示を除く）は、-904百万ユーロ（前年同期は-34百万ユーロ）となりました。これには、2022年度第4四半期に欧州中央銀行が決定したTLTROの条件変更に伴うヘッジ調整による一時的影響額（-891百万ユーロ）および訴訟引当金による一時的影響額（-125百万ユーロ）が含まれています。また、デリバティブに含まれる自己勘定の信用リスク再評価（DVA）によるマイナスの影響額11百万ユーロも含まれています（前年同期は+202百万ユーロであり、マイナスの非経常的項目により相殺されました。）。コーポレート・センターの営業費用（保険事業に関連する修正再表示を除く）は、1,162百万ユーロ（前年同期は951百万ユーロ）となりました。これには、IFRIC第21号に基づく賦課金¹の減少および特に単一破綻処理基金への拠出金の減少が含まれています。これらの費用にはまた、一時項目による影響として、2023年度第1四半期のパーソナル・ファイナンスにおける事業適応費用全般が236百万ユーロ、事業再編費用と事業適応費用が128百万ユーロ（前年同期は85百万ユーロ）およびIT強化費用が275百万ユーロ（前年同期は216百万ユーロ）含まれています。コーポレート・センターのリスク費用（保険事業に関連する修正再表示を除く）は、34百万ユーロ（前年同期は244百万ユーロ）となりました。これには、前年同期におけるポーランドの「債務者支援法」による一時的影響（204百万ユーロ）が含まれています。コーポレート・センターのその他の営業外項目（保険事業に関連する修正再表示を除く）は、140百万ユーロ（前年同期は-50百万ユーロ）となりました。その他の営業外項目には、前四半期の売却による譲渡益によるプラスの影響が含まれています。前年同期のその他の営業外項目には、Ukrsibbank株式の減損および為替換算差額²の純損益への分類変更に伴うマイナス影響（-433百万ユーロ）が含まれていましたが、その一部はbpost bankの負ののれんから生じたプラス影響（+244百万ユーロ）および持分売却による譲渡益（+204百万ユーロ）により相殺されました。以上から、コーポレート・センターの税引前利益（保険事業に関連する修正再表示を除く）は、第3四半期累計期間において-1,960百万ユーロ（前年同期は-1,280百万ユーロ）となりました。

*
* *

¹ IFRIC第21号「賦課金」に基づく当年度に係る税金および拠出金（単一破綻処理基金への拠出金の見積額を含む）は、そのほぼ全額が第1四半期に計上される

² 従前、連結資本に計上



財務構造

当グループの財務構造は盤石です。

普通株式等Tier1比率は2023年9月30日現在13.4%¹で、2023年6月30日現在と比較して20ベースポイント減少しました。この主因は以下の通りです。

- 2023年度第3四半期の純利益を剰余金に計上（配当性向60%とリスクアセットの自律的成長を考慮後）：+20ベースポイント
- 2023年度の自己株式取得プログラムに関する第2弾（2.5十億ユーロ）の開始に係る影響：-40ベースポイント

他の要因が普通株式等Tier1比率に及ぼした影響は全体として限定的でした。

レバレッジ比率²は2023年9月30日現在4.5%でした。

流動性カバレッジ比率³（期末）は2023年9月30日現在138%の高水準でした。

即時利用可能な剰余資金⁴は、2023年9月30日現在で439十億ユーロに上りました。これは資金調達との関係で1年超の余裕資金があることを意味しています。

*
* *

¹ CRD5。IFRS第9号の経過規定を含む

² 規則（EU）2019/876に従って算定

³ 規則（CRR）575/2013第451a条に従って算定

⁴ 健全性基準（特に米国基準。日中支払システムの需要を除く。）を考慮した流動性市場資産または中央銀行の適格（相殺能力）を満たすもの



連結貸借対照表 – 2023年9月30日現在

(単位：百万ユーロ)	2023年9月30日現在	2022年12月31日現在 IFRS第17号および IFRS第9号適用後 修正再表示
資産		
預金および中央銀行預け金	269,880	318,560
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産		
トレーディング目的有価証券	260,672	166,077
貸出金および売戻契約	279,489	191,125
デリバティブ金融商品	332,004	327,932
ヘッジ目的デリバティブ	27,547	25,401
その他の包括利益を通じ公正価値で測定する金融資産		
負債性金融商品	42,183	35,878
資本性金融商品	2,231	2,188
償却原価で測定する金融資産		
金融機関貸出金および債権	40,706	32,616
顧客貸出金および債権	853,247	857,020
負債性金融商品	113,923	114,014
金利リスクヘッジポートフォリオの再測定による調整	(6,389)	(7,477)
保険事業に関連する投資およびその他の資産	246,268	245,475
当期および繰延税金資産	5,514	5,932
未収収益およびその他の資産	174,444	208,543
持分法適用会社投資	6,927	6,073
有形固定資産および投資不動産	43,159	38,468
無形固定資産	3,959	3,790
のれん	5,598	5,294
売却目的保有資産	-	86,839
資産合計	2,701,362	2,663,748
負債		
中央銀行預金	4,606	3,054
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債		
トレーディング目的有価証券	116,587	99,155
預金および買戻契約	338,321	234,076
負債証券	77,986	65,578
デリバティブ金融商品	309,078	300,121
ヘッジ目的デリバティブ	40,986	40,001
償却原価で測定する金融負債		
金融機関預金	121,984	124,718
顧客預金	965,980	1,008,056
負債性金融商品	190,527	155,359
劣後債	24,690	24,160
金利リスクヘッジポートフォリオの再測定による調整	(16,399)	(20,201)
当期および繰延税金負債	3,598	2,979
未払費用およびその他の負債	156,605	185,010
保険契約に関連する負債	208,784	209,772
保険事業に関連する金融負債	19,948	18,858
偶発債務等引当金	8,769	10,040
売却目的保有資産関連負債	-	77,002
負債合計	2,572,050	2,537,738
連結資本		
資本金、払込剰余金、および利益剰余金	117,338	115,008
親会社株主帰属当期純利益	9,906	9,848
資本金、払込剰余金、利益剰余金、および親会社株主帰属当期純利益合計	127,244	124,856
資本に直接認識される資産および負債の変動	(3,106)	(3,619)
親会社株主資本	124,138	121,237
少数株主資本	5,174	4,773
連結資本合計	129,312	126,010
負債および連結資本合計	2,701,362	2,663,748



連結損益計算書

(単位:百万ユーロ)	3Q23	3Q22	3Q23 / 3Q22	9M23	9M22	9M23 / 9M22
グループ						
営業収益	11,581	11,141	+4.0%	34,976	34,545	+1.2%
営業費用および減価償却費	-7,093	-6,860	+3.4%	-23,173	-22,393	+3.5%
営業総利益	4,488	4,281	+4.8%	11,803	12,152	-2.9%
リスク費用	-734	-897	-18.1%	-2,065	-2,306	-10.4%
営業利益	3,754	3,384	+10.9%	9,738	9,846	-1.1%
持分法適用会社投資損益	193	176	+9.6%	520	561	-7.3%
その他の営業外項目	-133	39	n.s.	-9	18	n.s.
税引前利益	3,814	3,599	+6.0%	10,249	10,425	-1.7%
法人税	-1,060	-871	+21.7%	-2,929	-2,921	+0.3%
少数株主帰属純利益	-93	-92	+1.5%	-361	-298	+21.0%
非継続事業の純利益	0	136	n.s.	2,947	502	n.s.
株主帰属純利益	2,661	2,773	-4.0%	9,906	7,706	+28.5%
コストインカム率	61.2%	61.6%	-0.4 pt	66.3%	64.8%	+1.5 pt

BNPパリバの2023年度第3四半期に関する財務情報の開示は、本プレスリリース、修正再表示された2022年度の四半期の数値およびプレゼンテーションに含まれています。

2023年5月2日、BNPパリバは、2022年度の四半期の数値を修正再表示し、各四半期について (i) 2023年2月1日のBank of the Westの売却に伴う、売却目的で保有する資産および負債の処分グループに関するIFRS第5号の適用、(ii) 2023年1月1日付でのIFRS第17号 (保険契約) の適用および保険会社に対するIFRS第9号の適用、(iii) 2022年1月1日付でのトルコに対するIAS第29号 (超インフレ経済下における財務報告) の適用、ならびに (iv) グローバル・マーケット事業およびベルギーのコマーシャル&個人向けバンキングにおける事業および純利益の内部振替を反映したものを公表しました。2022年度の四半期の数値は、これらの影響について2022年1月1日に発生したものと修正再表示されています。本プレスリリースに記載されている2022年度の四半期の数値は修正再表示後のものです。

法令上要求される開示情報はすべて、登録書類 (universal registration document) を含めて、<http://invest.bnpparibas.com>の「Results (業績)」セクションからオンラインで入手可能であり、フランスの通貨金融法典L.451-1-2条およびフランス金融市場庁 (Autorité des Marchés Financiers) の一般規則第222-1条以降の規定に従い、BNPパリバが公表しています。



2023年度第3四半期 – コア事業別業績

		コマーシャル& 個人向け バンキングサービス 部門 (プライベート バンキングの 2/3)	インベストメ ント&プロテ クションサー ビス部門	ホールセール バンキング 部門	事業部門合計	コーポレート ・センター	グループ 合計
(単位:百万ユーロ)							
営業収益		6,569	1,420	3,896	11,885	-304	11,581
	対前年同期比	+5.6%	-2.6%	+3.0%	+3.7%	-6.1%	+4.0%
	対前四半期比	-0.5%	-0.7%	-2.6%	-1.2%	-54.3%	+1.9%
営業費用および減価償却費		-3,858	-884	-2,368	-7,109	16	-7,093
	対前年同期比	+4.9%	+0.1%	+1.7%	+3.2%	-39.8%	+3.4%
	対前四半期比	+4.6%	+0.6%	+4.1%	+3.9%	n.s.	+3.0%
営業総利益		2,711	536	1,528	4,775	-287	4,488
	対前年同期比	+6.5%	-6.8%	+4.9%	+4.3%	-3.0%	+4.8%
	対前四半期比	-6.9%	-2.7%	-11.3%	-7.9%	-59.6%	+0.3%
リスク費用		-761	-13	47	-727	-7	-734
	対前年同期比	+11.6%	n.s.	n.s.	-5.6%	-94.7%	-18.1%
	対前四半期比	+3.9%	n.s.	-39.8%	+10.9%	-79.7%	+6.5%
営業利益		1,950	523	1,575	4,048	-294	3,754
	対前年同期比	+4.6%	-9.4%	+15.3%	+6.3%	-30.4%	+10.9%
	対前四半期比	-10.5%	-4.9%	-12.5%	-10.6%	-60.5%	-0.8%
持分法適用会社投資損益		92	80	6	177	16	193
その他の営業外項目		-113	3	-26	-136	3	-133
税引前利益		1,929	606	1,555	4,089	-275	3,814
	対前年同期比	-2.9%	-6.7%	+13.6%	+2.1%	-32.1%	+6.0%
	対前四半期比	-15.4%	-0.3%	-13.9%	-12.9%	-56.7%	-6.0%

		コマーシャル& 個人向け バンキングサービス 部門 (プライベート バンキングの 2/3)	インベストメ ント&プロテ クションサー ビス部門	ホールセール バンキング 部門	事業部門合計	コーポレート ・センター	グループ 合計
(単位:百万ユーロ)							
営業収益		6,569	1,420	3,896	11,885	-304	11,581
	前年同期	6,223	1,458	3,783	11,465	-324	11,141
	前四半期	6,600	1,430	3,998	12,028	-665	11,363
営業費用および減価償却費		-3,858	-884	-2,368	-7,109	16	-7,093
	前年同期	-3,677	-883	-2,327	-6,887	27	-6,860
	前四半期	-3,689	-879	-2,275	-6,842	-47	-6,889
営業総利益		2,711	536	1,528	4,775	-287	4,488
	前年同期	2,545	575	1,456	4,577	-296	4,281
	前四半期	2,911	551	1,723	5,186	-712	4,474
リスク費用		-761	-13	47	-727	-7	-734
	前年同期	-682	2	-90	-770	-126	-897
	前四半期	-732	-2	78	-656	-33	-689
営業利益		1,950	523	1,575	4,048	-294	3,754
	前年同期	1,863	577	1,366	3,807	-423	3,384
	前四半期	2,179	550	1,801	4,530	-745	3,785
持分法適用会社投資損益		92	80	6	177	16	193
	前年同期	120	31	5	157	19	176
	前四半期	71	58	3	132	17	149
その他の営業外項目		-113	3	-26	-136	3	-133
	前年同期	3	41	-3	41	-2	39
	前四半期	29	0	2	31	93	124
税引前利益		1,929	606	1,555	4,089	-275	3,814
	前年同期	1,987	650	1,369	4,005	-406	3,599
	前四半期	2,280	607	1,806	4,694	-636	4,058
法人税							-1,060
少数株主帰属純利益							-93
非継続事業の純利益							0
株主帰属純利益							2,661



2023年度1-9月期 – コア事業別業績

		コマーシャル& 個人向け バンキングサービス 部門 (プライベート・ バンキングの 2/3)	インベストメ ント&プロテ クションサー ビス部門	ホールセール バンキング 部門	事業部門合計	コーポレート ・センター	グループ 合計
(単位: 百万ユーロ)							
営業収益		19,663	4,259	12,766	36,688	-1,712	34,976
	対前年同期比	+4.6%	-0.6%	+1.6%	+3.0%	+57.0%	+1.2%
営業費用および減価償却費		-12,026	-2,660	-8,083	-22,768	-405	-23,173
	対前年同期比	+3.3%	+2.5%	+1.5%	+2.6%	n.s.	+3.5%
営業総利益		7,637	1,599	4,684	13,921	-2,118	11,803
	対前年同期比	+6.8%	-5.3%	+1.9%	+3.6%	+65.1%	-2.9%
リスク費用		-2,140	-16	125	-2,031	-34	-2,065
	対前年同期比	+13.6%	+67.9%	n.s.	-1.5%	-86.2%	-10.4%
営業利益		5,498	1,583	4,808	11,889	-2,151	9,738
	対前年同期比	+4.4%	-5.7%	+8.6%	+4.5%	+40.9%	-1.1%
持分法適用会社投資損益		258	206	12	475	45	520
その他の営業外項目		-76	3	-31	-104	95	-9
税引前利益		5,680	1,792	4,789	12,261	-2,012	10,249
	対前年同期比	+0.2%	-5.1%	+7.7%	+2.2%	+27.6%	-1.7%
法人税							-2,929
少数株主帰属純利益							-361
非継続事業の純利益							0
株主帰属純利益							9,906



連結四半期業績の推移

(単位：百万ユーロ)	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
グループ							
営業収益	11,581	11,363	12,032	10,885	11,141	11,536	11,868
営業費用および減価償却費	-7,093	-6,889	-9,191	-7,471	-6,860	-6,779	-8,754
営業総利益	4,488	4,474	2,841	3,414	4,281	4,757	3,114
リスク費用	-734	-689	-642	-697	-897	-758	-651
営業利益	3,754	3,785	2,199	2,717	3,384	3,999	2,463
持分法適用会社投資損益	193	149	178	94	176	227	158
その他の営業外項目	-133	124	0	-22	39	-26	4
税引前利益	3,814	4,058	2,377	2,790	3,599	4,200	2,625
法人税	-1,060	-1,078	-791	-732	-871	-1,131	-919
少数株主帰属純利益	-93	-170	-98	-102	-92	-112	-95
非継続事業の純利益	0	0	2,947	185	136	136	229
株主帰属純利益	2,661	2,810	4,435	2,142	2,773	3,093	1,840
コスト/インカム率	61.2%	60.6%	76.4%	68.6%	61.6%	58.8%	73.8%
融資平均残高 (十億ユーロ)	820.5	820.8	815.9	823.1	816.8	796.9	776.8
預金平均残高 (十億ユーロ)	770.0	773.5	784.5	794.1	789.9	770.4	752.2
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	894.6	898.8	901.2	927.2	907.1	890.2	853.3
リスク費用 (年率、ベースポイント)	33	31	28	30	40	34	31



(単位: 百万ユーロ)	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
ホールセールバンキング (CIB) 部門							
営業収益	3,896	3,998	4,873	3,842	3,783	4,093	4,685
営業費用および減価償却費	-2,368	-2,275	-3,440	-2,727	-2,327	-2,299	-3,338
営業総利益	1,528	1,723	1,433	1,115	1,456	1,794	1,347
リスク費用	47	78	-1	-157	-90	-76	-2
営業利益	1,575	1,801	1,432	958	1,366	1,717	1,346
持分法適用会社投資損益	6	3	3	2	5	9	4
その他の営業外項目	-26	2	-6	-8	-3	-1	1
税引前利益	1,555	1,806	1,428	952	1,369	1,726	1,351
コスト/インカム率	60.8%	56.9%	70.6%	71.0%	61.5%	56.2%	71.2%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	29.0	29.0	28.8	29.9	29.6	28.9	27.4
リスクアセット (十億ユーロ)	246.6	243.3	244.6	244.0	266.5	260.7	256.2
(単位: 百万ユーロ)	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
グローバル・バンキング事業							
営業収益	1,404	1,425	1,455	1,513	1,171	1,239	1,258
営業費用および減価償却費	-679	-655	-849	-734	-654	-648	-805
営業総利益	726	770	605	779	518	591	453
リスク費用	46	85	1	-155	-116	-85	20
営業利益	771	855	607	624	402	505	473
持分法適用会社投資損益	1	1	1	1	1	1	1
その他の営業外項目	-5	0	0	0	0	0	0
税引前利益	768	856	608	626	403	506	474
コスト/インカム率	48.3%	46.0%	58.4%	48.5%	55.8%	52.3%	64.0%
融資平均残高 (十億ユーロ)	179	179	182	188	187	176	168
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	172	176	177	189	179	170	163
預金平均残高 (十億ユーロ)	208	209	216	219	209	198	190
リスク費用 (年率、ベースポイント)	-11	-19	0	33	26	20	-5
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	16.3	16.5	16.5	16.5	16.4	16.0	15.2
リスクアセット (十億ユーロ)	140.7	140.6	146.1	146.3	155.5	149.0	145.3
(単位: 百万ユーロ)	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
グローバル・マーケット事業							
営業収益	1,800	1,913	2,764	1,651	1,980	2,191	2,814
うち FICC	1,021	1,126	1,906	1,152	1,156	1,379	1,749
うち株式・プライムサービス	779	787	857	499	824	812	1,065
営業費用および減価償却費	-1,163	-1,116	-2,016	-1,474	-1,161	-1,152	-1,994
営業総利益	638	796	748	177	819	1,040	819
リスク費用	1	-6	-4	-3	28	8	-21
営業利益	639	790	744	174	847	1,048	798
持分法適用会社投資損益	1	0	2	1	3	8	2
その他の営業外項目	0	2	-7	-9	-1	-1	1
税引前利益	640	793	740	166	848	1,055	801
コスト/インカム率	64.6%	58.4%	72.9%	89.3%	58.6%	52.6%	70.9%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	11.5	11.3	11.2	12.0	11.8	11.5	10.9
リスクアセット (十億ユーロ)	95.4	92.7	88.3	87.7	99.4	98.5	96.3
(単位: 百万ユーロ)	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
証券管理事業							
営業収益	691	661	655	679	632	663	613
営業費用および減価償却費	-526	-504	-575	-520	-513	-499	-538
営業総利益	165	157	79	159	119	164	75
リスク費用	0	-1	1	1	-2	0	0
営業利益	165	156	81	160	118	164	75
持分法適用会社投資損益	3	1	0	-1	1	0	1
その他の営業外項目	-22	0	0	1	-1	0	0
税引前利益	147	158	81	161	118	164	77
コスト/インカム率	76.1%	76.2%	87.9%	76.6%	81.1%	75.3%	87.8%
預かり資産 (十億ユーロ)	12,894	12,015	11,941	11,133	10,798	11,214	11,907
管理資産 (十億ユーロ)	2,394	2,408	2,520	2,303	2,262	2,256	2,426
取引件数 (百万件)	34.5	35.0	38.6	36.9	35.5	38.3	38.6
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	1.2	1.2	1.1	1.4	1.4	1.4	1.3
リスクアセット (十億ユーロ)	10.5	10.0	10.2	9.9	11.6	13.2	14.6



(単位: 百万ユーロ)	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
コマース&個人向けバンキングサービス (CPBS) 部門 (プライベートバンキングの100%を含む) ¹							
営業収益	6,752	6,778	6,670	6,306	6,377	6,580	6,308
営業費用および減価償却費	-3,948	-3,776	-4,585	-3,964	-3,767	-3,766	-4,380
営業総利益	2,804	3,003	2,084	2,342	2,610	2,814	1,927
リスク費用	-762	-733	-650	-600	-681	-614	-596
営業利益	2,042	2,269	1,435	1,742	1,929	2,200	1,331
持分法適用会社投資損益	92	71	95	69	120	157	86
その他の営業外項目	-113	30	8	-62	3	26	11
税引前利益	2,021	2,370	1,537	1,750	2,052	2,383	1,428
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-92	-90	-66	-87	-65	-76	-54
コマース&個人向けバンキングサービス部門の税引前利益	1,929	2,280	1,471	1,663	1,987	2,307	1,374
コスト/インカム率							
融資平均残高 (十億ユーロ)	635	635	627	627	622	612	600
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	635	628	629	624	620	607	593
預金平均残高 (十億ユーロ)	562	564	568	575	581	573	562
リスク費用 (年率、ベースポイント)	48	47	41	38	44	40	40
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; プライベートバンキングの2/3を含む)	43.4	43.4	43.6	41.7	41.5	41.0	39.7
リスクアセット (十億ユーロ)	373.0	376.1	374.9	375.1	376.9	374.4	374.0
(単位: 百万ユーロ)							
コマース&個人向けバンキングサービス部門-PEL/CBLを除く (プライベートバンキングの100%を含む) ¹							
営業収益	6,754	6,782	6,666	6,298	6,364	6,566	6,296
営業費用および減価償却費	-3,948	-3,776	-4,585	-3,964	-3,767	-3,766	-4,380
営業総利益	2,806	3,006	2,081	2,335	2,597	2,800	1,916
リスク費用	-762	-733	-650	-600	-681	-614	-596
営業利益	2,044	2,273	1,431	1,735	1,916	2,186	1,320
持分法適用会社投資損益	92	71	95	69	120	157	86
その他の営業外項目	-113	30	8	-62	3	26	11
税引前利益	2,023	2,374	1,534	1,742	2,039	2,369	1,417
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-92	-90	-66	-87	-65	-76	-54
コマース&個人向けバンキングサービス部門の税引前利益	1,931	2,283	1,468	1,655	1,974	2,293	1,362
コスト/インカム率							
融資平均残高 (十億ユーロ)	635	635	627	627	622	612	600
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	635	628	629	624	620	607	593
預金平均残高 (十億ユーロ)	562	564	568	575	581	573	562
リスク費用 (年率、ベースポイント)	48	47	41	38	44	40	40
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; プライベートバンキングの2/3を含む)	43.4	43.4	43.6	41.7	41.5	41.0	39.7
リスクアセット (十億ユーロ)	373.0	376.1	374.9	375.1	376.9	374.4	374.0
(単位: 百万ユーロ)							
コマース&個人向けバンキングサービス部門 (プライベートバンキングの2/3を含む)							
営業収益	6,569	6,600	6,494	6,141	6,223	6,420	6,147
営業費用および減価償却費	-3,858	-3,689	-4,479	-3,872	-3,677	-3,683	-4,281
営業総利益	2,711	2,911	2,015	2,269	2,545	2,737	1,866
リスク費用	-761	-732	-646	-613	-682	-613	-589
営業利益	1,950	2,179	1,369	1,656	1,863	2,124	1,277
持分法適用会社投資損益	92	71	95	69	120	157	86
その他の営業外項目	-113	29	8	-62	3	26	11
税引前利益	1,929	2,280	1,471	1,663	1,987	2,307	1,374
コスト/インカム率							
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	43.4	43.4	43.6	41.7	41.5	41.0	39.7
リスクアセット (十億ユーロ)	368.9	371.9	370.8	370.9	372.6	370.3	369.9
(単位: 百万ユーロ)							
コマース&個人向けバンキングサービス部門-PEL/CBLを除く (プライベートバンキングの2/3を含む)							
営業収益	6,571	6,604	6,491	6,134	6,210	6,406	6,136
営業費用および減価償却費	-3,858	-3,689	-4,479	-3,872	-3,677	-3,683	-4,281
営業総利益	2,713	2,915	2,012	2,262	2,533	2,723	1,855
リスク費用	-761	-732	-646	-613	-682	-613	-589
営業利益	1,952	2,182	1,365	1,648	1,851	2,110	1,266
持分法適用会社投資損益	92	71	95	69	120	157	86
その他の営業外項目	-113	29	8	-62	3	26	11
税引前利益	1,931	2,283	1,468	1,655	1,974	2,293	1,362
コスト/インカム率							
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	43.4	43.4	43.6	41.7	41.5	41.0	39.7
リスクアセット (十億ユーロ)	368.9	371.9	370.8	370.9	372.6	370.3	369.9

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位：百万ユーロ)	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
コマース&個人向けバンキング事業 (プライベートバンキングの100%を含む) ¹							
営業収益	4,236	4,154	4,157	3,937	3,960	4,099	3,902
うち正味利息収益	2,772	2,661	2,678	2,483	2,499	2,582	2,413
うち手数料	1,464	1,493	1,479	1,454	1,461	1,517	1,490
営業費用および減価償却費	-2,698	-2,524	-3,208	-2,720	-2,588	-2,568	-3,106
営業総利益	1,538	1,630	949	1,218	1,372	1,531	796
リスク費用	-291	-307	-231	-115	-285	-234	-239
営業利益	1,246	1,323	717	1,103	1,087	1,297	557
持分法適用会社投資損益	76	64	88	75	100	133	70
その他の営業外項目	-121	-24	39	-54	0	10	-3
税引前利益	1,201	1,362	844	1,123	1,187	1,441	625
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-91	-89	-65	-86	-65	-75	-54
コマース&個人向けバンキング事業の税引前利益	1,110	1,273	778	1,037	1,122	1,366	571
コスト/インカム率	63.7%	60.8%	77.2%	69.1%	65.3%	62.6%	79.6%
融資平均残高 (十億ユーロ)	471	473	475	479	476	468	459
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	499	501	504	501	497	485	474
預金平均残高 (十億ユーロ)	530	532	536	545	550	542	532
リスク費用 (年率、ベースポイント)	23	25	18	9	23	19	20
配賦資本 (十億ユーロ、年初末；プライベートバンキングの2/3を含む)	29.8	30.0	30.5	29.6	29.5	29.2	28.3
リスクアセット (十億ユーロ)	252.8	256.8	259.0	263.5	267.9	265.8	267.2
(単位：百万ユーロ)	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
コマース&個人向けバンキング事業-P&L/C&Lを除く (プライベートバンキングの100%を含む) ¹							
営業収益	4,238	4,157	4,154	3,929	3,948	4,085	3,891
うち正味利息収益	2,774	2,664	2,675	2,475	2,487	2,568	2,401
うち手数料	1,464	1,493	1,479	1,454	1,461	1,517	1,490
営業費用および減価償却費	-2,698	-2,524	-3,208	-2,720	-2,588	-2,568	-3,106
営業総利益	1,540	1,633	946	1,210	1,360	1,517	785
リスク費用	-291	-307	-231	-115	-285	-234	-239
営業利益	1,248	1,326	714	1,095	1,075	1,283	546
持分法適用会社投資損益	76	64	88	75	100	133	70
その他の営業外項目	-121	-24	39	-54	0	10	-3
税引前利益	1,203	1,366	840	1,115	1,174	1,427	613
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-91	-89	-65	-86	-65	-75	-54
コマース&個人向けバンキング事業の税引前利益	1,112	1,276	775	1,029	1,110	1,352	560
コスト/インカム率	63.7%	60.7%	77.2%	69.2%	65.6%	62.9%	79.8%
融資平均残高 (十億ユーロ)	471	473	475	479	476	468	459
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	499	501	504	501	497	485	474
預金平均残高 (十億ユーロ)	530	532	536	545	550	542	532
リスク費用 (年率、ベースポイント)	23	25	18	9	23	19	20
配賦資本 (十億ユーロ、年初末；プライベートバンキングの2/3を含む)	29.8	30.0	30.5	29.6	29.5	29.2	28.3
リスクアセット (十億ユーロ)	252.8	256.8	259.0	263.5	267.9	265.8	267.2
(単位：百万ユーロ)	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
コマース&個人向けバンキング事業 (プライベートバンキングの2/3を含む)							
営業収益	4,056	3,979	3,984	3,775	3,809	3,941	3,744
営業費用および減価償却費	-2,610	-2,439	-3,104	-2,630	-2,501	-2,486	-3,009
営業総利益	1,445	1,540	880	1,145	1,308	1,455	735
リスク費用	-290	-306	-228	-129	-285	-232	-231
営業利益	1,155	1,233	652	1,017	1,023	1,222	504
持分法適用会社投資損益	76	64	88	75	100	133	70
その他の営業外項目	-121	-24	39	-54	0	10	-3
税引前利益	1,110	1,273	778	1,037	1,122	1,366	571
コスト/インカム率	64.4%	61.3%	77.9%	69.7%	65.7%	63.1%	80.4%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	29.8	30.0	30.5	29.6	29.5	29.2	28.3
リスクアセット (十億ユーロ)	248.8	252.7	254.9	259.3	263.7	261.7	263.1
(単位：百万ユーロ)	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
コマース&個人向けバンキング事業-P&L/C&Lを除く (プライベートバンキングの2/3を含む)							
営業収益	4,058	3,982	3,981	3,768	3,796	3,927	3,733
営業費用および減価償却費	-2,610	-2,439	-3,104	-2,630	-2,501	-2,486	-3,009
営業総利益	1,447	1,543	877	1,138	1,295	1,440	724
リスク費用	-290	-306	-228	-129	-285	-232	-231
営業利益	1,157	1,237	649	1,009	1,010	1,208	492
持分法適用会社投資損益	76	64	88	75	100	133	70
その他の営業外項目	-121	-24	39	-54	0	10	-3
税引前利益	1,112	1,276	775	1,029	1,110	1,352	560
コスト/インカム率	64.3%	61.3%	78.0%	69.8%	65.9%	63.3%	80.6%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	29.8	30.0	30.5	29.6	29.5	29.2	28.3
リスクアセット (十億ユーロ)	248.8	252.7	254.9	259.3	263.7	261.7	263.1

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
ユーロ圏のコマーシャル&個人向けバンキング事業 (プライベートバンキングの100%を含む) ¹							
営業収益	3,427	3,550	3,509	3,403	3,354	3,479	3,317
うち正味利息収益	2,090	2,152	2,139	2,050	2,011	2,074	1,947
うち手数料	1,337	1,398	1,371	1,353	1,343	1,405	1,370
営業費用および減価償却費	-2,243	-2,180	-2,773	-2,301	-2,193	-2,152	-2,678
営業総利益	1,184	1,371	736	1,102	1,161	1,327	640
リスク費用	-241	-251	-183	-105	-230	-187	-198
営業利益	943	1,120	553	997	931	1,140	442
持分法適用会社投資損益	1	0	0	0	0	1	0
その他の営業外項目	2	0	1	-1	5	31	6
税引前利益	946	1,120	555	996	936	1,171	448
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-74	-79	-57	-80	-61	-72	-50
ユーロ圏のコマーシャル&個人向けバンキング事業の税引前利益	872	1,041	498	917	875	1,099	397
コスト/インカム率							
融資平均残高 (十億ユーロ)	65.4%	61.4%	79.0%	67.6%	65.4%	61.9%	80.7%
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	438	440	441	444	441	433	425
預金平均残高 (十億ユーロ)	464	465	467	463	460	449	437
リスク費用 (年率、ベースポイント)	489	492	494	502	508	501	492
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; プライベートバンキングの2/3を含む)	21	22	16	9	20	17	18
リスクアセット (十億ユーロ)	24.4	24.5	24.9	24.1	24.1	24.0	23.2
リスクアセット (十億ユーロ)	206.4	210.2	209.5	213.0	215.8	214.0	218.8
(単位: 百万ユーロ)							
ユーロ圏のコマーシャル&個人向けバンキング事業-P&L/C&Lを除く (プライベートバンキングの100%を含む) ¹							
営業収益	3,429	3,554	3,506	3,395	3,341	3,465	3,306
うち正味利息収益	2,092	2,156	2,136	2,042	1,998	2,060	1,936
うち手数料	1,337	1,398	1,371	1,353	1,343	1,405	1,370
営業費用および減価償却費	-2,243	-2,180	-2,773	-2,301	-2,193	-2,152	-2,678
営業総利益	1,186	1,374	733	1,094	1,148	1,313	628
リスク費用	-241	-251	-183	-105	-230	-187	-198
営業利益	945	1,123	550	989	918	1,126	430
持分法適用会社投資損益	1	0	0	0	0	1	0
その他の営業外項目	2	0	1	-1	5	31	6
税引前利益	948	1,123	552	989	923	1,157	436
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-74	-79	-57	-80	-61	-72	-50
ユーロ圏のコマーシャル&個人向けバンキング事業の税引前利益	874	1,044	495	909	862	1,085	386
コスト/インカム率							
融資平均残高 (十億ユーロ)	65.4%	61.3%	79.1%	67.8%	65.6%	62.1%	81.0%
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	438	440	441	444	441	433	425
預金平均残高 (十億ユーロ)	464	465	467	463	460	449	437
リスク費用 (年率、ベースポイント)	489	492	494	502	508	501	492
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; プライベートバンキングの2/3を含む)	21	22	16	9	20	17	18
リスクアセット (十億ユーロ)	24.4	24.5	24.9	24.1	24.1	24.0	23.2
リスクアセット (十億ユーロ)	206.4	210.2	209.5	213.0	215.8	214.0	218.8
(単位: 百万ユーロ)							
ユーロ圏のコマーシャル&個人向けバンキング事業 (プライベートバンキングの2/3を含む)							
営業収益	3,266	3,387	3,347	3,249	3,208	3,326	3,164
営業費用および減価償却費	-2,158	-2,097	-2,671	-2,213	-2,108	-2,073	-2,583
営業総利益	1,109	1,291	676	1,036	1,100	1,254	582
リスク費用	-240	-250	-179	-119	-230	-186	-191
営業利益	869	1,041	496	918	870	1,068	391
持分法適用会社投資損益	1	0	0	0	0	1	0
その他の営業外項目	2	0	1	-1	5	31	6
税引前利益	872	1,041	498	917	875	1,099	397
コスト/インカム率							
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	66.1%	61.9%	79.8%	68.1%	65.7%	62.3%	81.6%
リスクアセット (十億ユーロ)	24.4	24.5	24.9	24.1	24.1	24.0	23.2
リスクアセット (十億ユーロ)	202.4	206.1	205.4	208.8	211.6	209.9	214.7
(単位: 百万ユーロ)							
ユーロ圏のコマーシャル&個人向けバンキング事業-P&L/C&Lを除く (プライベートバンキングの2/3を含む)							
営業収益	3,268	3,391	3,344	3,242	3,195	3,312	3,153
営業費用および減価償却費	-2,158	-2,097	-2,671	-2,213	-2,108	-2,073	-2,583
営業総利益	1,110	1,294	673	1,029	1,087	1,240	571
リスク費用	-240	-250	-179	-119	-230	-186	-191
営業利益	871	1,044	493	910	857	1,053	380
持分法適用会社投資損益	1	0	0	0	0	1	0
その他の営業外項目	2	0	1	-1	5	31	6
税引前利益	874	1,044	495	909	862	1,085	386
コスト/インカム率							
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	66.0%	61.8%	79.9%	68.3%	66.0%	62.6%	81.9%
リスクアセット (十億ユーロ)	24.4	24.5	24.9	24.1	24.1	24.0	23.2
リスクアセット (十億ユーロ)	202.4	206.1	205.4	208.8	211.6	209.9	214.7

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
CPBF (プライベートバンキングの100%を含む) ¹							
営業収益	1,600	1,712	1,673	1,670	1,669	1,728	1,613
うち正味利息収益	833	914	896	902	899	919	847
うち手数料	768	799	777	768	769	809	766
営業費用および減価償却費	-1,133	-1,114	-1,276	-1,210	-1,133	-1,117	-1,239
営業総利益	467	598	397	460	536	612	374
リスク費用	-117	-151	-75	21	-102	-64	-93
営業利益	350	448	322	481	434	548	281
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	1	0
その他の営業外項目	0	0	0	-1	1	25	0
税引前利益	350	448	322	481	434	574	282
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-42	-45	-37	-48	-36	-42	-31
CPBFの税引前利益	308	403	285	433	398	531	250
コスト/インカム率	70.8%	65.1%	76.3%	72.4%	67.9%	64.6%	76.8%
融資平均残高 (十億ユーロ)	211	211	212	213	212	208	203
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	231	231	232	228	227	221	218
預金平均残高 (十億ユーロ)	238	239	242	247	249	244	240
リスク費用 (年率、ベースポイント)	20	26	13	-4	18	12	17
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; プライベートバンキングの2/3を含む)	11.5	11.5	11.5	11.3	11.1	11.0	10.6
リスクアセット (十億ユーロ)	101.3	103.5	102.7	103.4	105.2	102.8	103.2
(単位: 百万ユーロ)	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
CPBF-PEL/CELを除く (プライベートバンキングの100%を含む) ¹							
営業収益	1,602	1,716	1,670	1,662	1,656	1,714	1,602
うち正味利息収益	834	917	893	894	887	905	836
うち手数料	768	799	777	768	769	809	766
営業費用および減価償却費	-1,133	-1,114	-1,276	-1,210	-1,133	-1,117	-1,239
営業総利益	469	602	394	453	523	598	363
リスク費用	-117	-151	-75	21	-102	-64	-93
営業利益	352	451	318	474	421	534	270
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	1	0
その他の営業外項目	0	0	0	-1	1	25	0
税引前利益	352	451	318	473	422	560	270
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-42	-45	-37	-48	-36	-42	-31
CPBFの税引前利益	309	406	282	425	385	517	239
コスト/インカム率	70.7%	64.9%	76.4%	72.8%	68.4%	65.1%	77.3%
融資平均残高 (十億ユーロ)	211	211	212	213	212	208	203
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	231	231	232	228	227	221	218
預金平均残高 (十億ユーロ)	238	239	242	247	249	244	240
リスク費用 (年率、ベースポイント)	20	26	13	-4	18	12	17
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; プライベートバンキングの2/3を含む)	11.5	11.5	11.5	11.3	11.1	11.0	10.6
リスクアセット (十億ユーロ)	101.3	103.5	102.7	103.4	105.2	102.8	103.2
PEL/CELに係る引当金に関する留意事項: 当該引当金は、CPBFの営業収益において計上されているが、住宅貯蓄制度 (Plans Epargne Logement: PEL) および住宅貯蓄口座 (Comptes Epargne Logement: CEL) から全存続期間にわたり生じるリスクを考慮している。							
(単位: 百万ユーロ)	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
PEL/CELの影響 (フランスのプライベートバンキングの100%)	-2	-3	3	8	13	14	11
(単位: 百万ユーロ)	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
CPBF (プライベートバンキングの2/3を含む)							
営業収益	1,515	1,627	1,587	1,592	1,592	1,647	1,531
営業費用および減価償却費	-1,092	-1,074	-1,230	-1,166	-1,092	-1,078	-1,195
営業総利益	423	553	357	426	500	569	336
リスク費用	-116	-150	-72	8	-103	-64	-86
営業利益	308	403	285	434	397	505	250
営業外項目	0	0	0	-1	1	26	0
税引前利益	308	403	285	433	398	531	250
コスト/インカム率	72.1%	66.0%	77.5%	73.2%	68.6%	65.4%	78.0%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	11.5	11.5	11.5	11.3	11.1	11.0	10.6
リスクアセット (十億ユーロ)	98.6	100.7	99.8	100.5	102.3	100.0	100.4
(単位: 百万ユーロ)	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
CPBF-PEL/CELを除く (プライベートバンキングの2/3を含む)							
営業収益	1,517	1,630	1,584	1,584	1,579	1,633	1,520
営業費用および減価償却費	-1,092	-1,074	-1,230	-1,166	-1,092	-1,078	-1,195
営業総利益	425	556	354	418	487	555	325
リスク費用	-116	-150	-72	8	-103	-64	-86
営業利益	310	406	282	426	385	491	239
営業外項目	0	0	0	-1	1	26	0
税引前利益	309	406	282	425	385	517	239
コスト/インカム率	72.0%	65.9%	77.6%	73.6%	69.1%	66.0%	78.6%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	11.5	11.5	11.5	11.3	11.1	11.0	10.6
リスクアセット (十億ユーロ)	98.6	100.7	99.8	100.5	102.3	100.0	100.4

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
BNLバンカ・コムシアーレ (プライベートバンキングの100%を含む) ¹							
営業収益	660	687	675	656	652	671	654
うち正味利息収益	398	411	392	369	382	387	380
うち手数料	263	276	284	286	271	284	274
営業費用および減価償却費	-448	-428	-464	-426	-440	-416	-454
営業総利益	213	259	211	230	213	255	201
リスク費用	-98	-80	-98	-114	-114	-110	-128
営業利益	114	179	113	116	99	146	73
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	0	-3	0	0	0	2	0
税引前利益	115	176	113	116	99	148	73
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-4	-5	-7	-5	-4	-8	-8
BNLバンカ・コムシアーレの税引前利益	110	171	106	111	95	139	65
コスト/インカム率	67.8%	62.3%	68.7%	64.9%	67.4%	62.0%	69.3%
融資平均残高 (十億ユーロ)	74	76	77	79	79	78	79
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	77	79	80	80	80	79	82
預金平均残高 (十億ユーロ)	64	65	63	64	65	65	63
リスク費用 (年率、ベースポイント)	51	41	49	57	57	55	63
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; プライベートバンキングの2/3を含む)	5.8	5.9	5.9	6.0	6.0	6.0	5.9
リスクアセット (十億ユーロ)	43.7	45.1	46.4	47.6	48.7	49.3	49.8
(単位: 百万ユーロ)	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
BNLバンカ・コムシアーレ (プライベートバンキングの2/3を含む)							
営業収益	641	667	654	635	631	649	633
営業費用および減価償却費	-433	-413	-450	-411	-423	-403	-440
営業総利益	208	255	204	224	208	246	193
リスク費用	-98	-80	-98	-114	-114	-109	-128
営業利益	110	174	106	110	95	138	65
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	0	-3	0	0	0	2	0
税引前利益	110	171	106	111	95	139	65
コスト/インカム率	67.5%	61.9%	68.8%	64.7%	67.0%	62.0%	69.5%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	5.8	5.9	5.9	6.0	6.0	6.0	5.9
リスクアセット (十億ユーロ)	43.3	44.7	46.0	47.1	48.2	48.8	49.3
(単位: 百万ユーロ)	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
CPBB (プライベートバンキングの100%を含む) ¹							
営業収益	1,014	1,006	1,016	947	917	965	935
うち正味利息収益	731	706	731	673	636	677	632
うち手数料	283	300	285	274	281	288	303
営業費用および減価償却費	-591	-568	-945	-598	-558	-554	-905
営業総利益	424	438	70	348	359	412	30
リスク費用	-22	-19	-8	-20	-17	-16	17
営業利益	402	418	62	328	342	396	47
持分法適用会社投資損益	1	0	0	0	0	1	0
その他の営業外項目	2	3	1	-1	3	3	4
税引前利益	405	422	64	327	345	399	52
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-26	-28	-12	-25	-19	-20	-10
CPBBの税引前利益	379	394	52	303	326	379	42
コスト/インカム率	58.2%	56.5%	93.1%	63.2%	60.9%	57.3%	96.8%
融資平均残高 (十億ユーロ)	140	139	138	138	137	134	131
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	144	142	142	141	140	136	125
預金平均残高 (十億ユーロ)	159	161	160	161	162	162	161
リスク費用 (年率、ベースポイント)	6	5	2	6	5	5	-6
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; プライベートバンキングの2/3を含む)	6.2	6.3	6.7	6.1	6.1	6.2	5.9
リスクアセット (十億ユーロ)	54.4	54.4	53.2	54.5	54.2	54.2	58.4
(単位: 百万ユーロ)	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
CPBB (プライベートバンキングの2/3を含む)							
営業収益	961	952	964	896	871	920	890
営業費用および減価償却費	-563	-543	-906	-571	-532	-529	-870
営業総利益	398	410	58	324	339	392	20
リスク費用	-22	-19	-8	-21	-17	-16	18
営業利益	376	391	51	303	323	376	38
持分法適用会社投資損益	1	0	0	0	0	1	0
その他の営業外項目	2	3	1	-1	3	3	4
税引前利益	379	394	52	303	326	379	42
コスト/インカム率	58.6%	57.0%	94.0%	63.8%	61.1%	57.4%	97.8%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	6.2	6.3	6.7	6.1	6.1	6.2	5.9
リスクアセット (十億ユーロ)	53.6	53.6	52.4	53.9	53.4	53.5	57.6

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位：百万ユーロ)	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
CPBL (プライベートバンキングの100%を含む)¹							
営業収益	152	145	145	130	116	114	115
うち正味利息収益	129	122	120	105	94	90	88
うち手数料	23	23	25	25	22	24	27
営業費用および減価償却費	-71	-69	-88	-67	-62	-66	-80
営業総利益	81	75	58	63	54	48	35
リスク費用	-4	-1	-1	9	3	3	5
営業利益	77	75	56	72	56	51	40
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	0	0	0	0	1	0	2
税引前利益	77	75	57	72	58	51	42
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-2	-2	-2	-2	-1	-2	-2
CPBLの税引前利益	76	73	55	70	56	49	40
コスト/インカム率	47.0%	47.8%	60.3%	51.3%	53.8%	57.8%	69.8%
融資平均残高 (十億ユーロ)	13	13	13	13	13	13	13
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	13	13	14	13	13	13	13
預金平均残高 (十億ユーロ)	29	28	29	30	31	30	29
リスク費用 (年率、ベースポイント)	11	2	4	-25	-8	-9	-17
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; プライベートバンキングの2/3を含む)	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
リスクアセット (十億ユーロ)	7.0	7.2	7.3	7.4	7.8	7.6	7.5
(単位：百万ユーロ)	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
CPBL (プライベートバンキングの2/3を含む)							
営業収益	148	141	142	127	113	110	111
営業費用および減価償却費	-69	-67	-86	-65	-61	-64	-78
営業総利益	79	74	56	62	52	46	33
リスク費用	-4	-1	-1	8	3	3	5
営業利益	75	73	54	70	55	49	38
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	0	0	0	0	1	0	2
税引前利益	76	73	55	70	56	49	40
コスト/インカム率	46.7%	47.7%	60.5%	51.3%	53.7%	57.9%	70.4%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
リスクアセット (十億ユーロ)	6.9	7.0	7.1	7.3	7.7	7.5	7.4
(単位：百万ユーロ)	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
他の国々のコマース&個人向けバンキング事業 (プライベートバンキングの100%を含む)¹ - 欧州・地中海沿岸諸国							
営業収益	809	603	648	534	607	620	585
うち正味利息収益	682	509	540	433	488	508	465
うち手数料	127	95	108	101	118	112	120
営業費用および減価償却費	-455	-344	-435	-419	-395	-416	-428
営業総利益	354	259	212	115	212	204	156
リスク費用	-50	-56	-49	-10	-55	-47	-41
営業利益	303	203	164	105	156	158	116
持分法適用会社投資損益	74	64	87	74	100	132	70
その他の営業外項目	-123	-24	37	-53	-5	-20	-9
税引前利益	255	242	288	126	251	270	177
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-17	-10	-8	-6	-3	-3	-3
他の国々のコマース&個人向けバンキング事業の税引前利益 - 欧州・地中海沿岸諸国	238	232	280	120	248	267	174
コスト/インカム率	56.3%	57.1%	67.2%	78.4%	65.1%	67.0%	73.3%
融資平均残高 (十億ユーロ)	33	32	34	35	35	35	34
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	35	36	37	38	38	37	37
預金平均残高 (十億ユーロ)	41	40	42	43	43	41	40
リスク費用 (年率、ベースポイント)	57	62	53	11	58	51	45
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; プライベートバンキングの2/3を含む)	5.4	5.5	5.6	5.5	5.4	5.2	5.1
リスクアセット (十億ユーロ、年初末)	46.4	46.6	49.5	50.5	52.0	51.8	48.4
(単位：百万ユーロ)	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
他の国々のコマース&個人向けバンキング事業 (プライベートバンキングの2/3を含む) - 欧州・地中海沿岸諸国							
営業収益	789	591	638	526	601	615	580
営業費用および減価償却費	-453	-342	-433	-417	-393	-414	-427
営業総利益	337	249	204	109	208	201	153
リスク費用	-50	-56	-49	-10	-55	-46	-41
営業利益	286	193	156	99	153	155	112
持分法適用会社投資損益	74	64	87	74	100	132	70
その他の営業外項目	-123	-24	37	-53	-5	-20	-9
税引前利益	238	232	280	120	248	267	174
コスト/インカム率	57.4%	57.9%	67.9%	79.2%	65.4%	67.3%	73.6%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	5.4	5.5	5.6	5.5	5.4	5.2	5.1
リスクアセット (十億ユーロ)	46.4	46.6	49.5	50.5	52.0	51.8	48.4

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位：百万ユーロ)	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
専門的金融事業（パーソナル・ファイナンス、アルバルとリーシング・ソリューションズ、ニューデジタル事業と個人投資家事業—プライベートバンキングの100%を含む）¹							
営業収益	2,516	2,625	2,512	2,369	2,416	2,481	2,405
営業費用および減価償却費	-1,250	-1,252	-1,377	-1,244	-1,179	-1,198	-1,274
営業総利益	1,267	1,373	1,136	1,125	1,238	1,283	1,131
リスク費用	-471	-426	-418	-485	-396	-380	-357
営業利益	796	947	717	640	841	902	774
持分法適用会社投資損益	16	7	7	-5	21	24	16
その他の営業外項目	8	54	-31	-8	3	15	13
税引前利益	819	1,008	693	627	865	942	804
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-1	-1	-1	-1	0	0	-1
専門的金融事業の税引前利益	818	1,007	692	626	865	941	803
コスト/インカム率	49.7%	47.7%	54.8%	52.5%	48.8%	48.3%	53.0%
融資期初残高（十億ユーロ、リスク費用算定に使用）	136	127	125	123	123	121	118
リスク費用（年率、ベースポイント）	139	134	134	157	129	125	121
配賦資本（十億ユーロ、年初末；プライベートバンキングの2/3を含む）	13.6	13.4	13.1	12.1	12.0	11.8	11.4
リスクアセット（十億ユーロ）	120.1	119.3	115.9	111.6	109.0	108.6	106.8
(単位：百万ユーロ)	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
パーソナル・ファイナンス							
営業収益	1,292	1,327	1,288	1,283	1,345	1,371	1,388
営業費用および減価償却費	-713	-733	-810	-739	-689	-718	-776
営業総利益	580	593	477	544	656	653	613
リスク費用	-397	-363	-358	-413	-336	-309	-315
営業利益	183	230	120	131	320	344	297
持分法適用会社投資損益	18	10	9	-5	22	26	14
その他の営業外項目	-4	50	-7	-15	-2	-6	-7
税引前利益	197	290	122	111	340	365	305
コスト/インカム率	55.2%	55.3%	62.9%	57.6%	51.2%	52.4%	55.9%
融資平均残高（十億ユーロ）	105	105	97	96	94	94	93
融資期初残高（十億ユーロ、リスク費用算定に使用）	108	100	98	97	97	96	94
リスク費用（年率、ベースポイント）	147	145	145	170	139	129	134
配賦資本（十億ユーロ、年初末）	9.1	8.8	8.6	8.1	8.1	8.0	7.7
リスクアセット（十億ユーロ）	81.8	82.7	77.7	74.8	73.0	73.1	72.4
(単位：百万ユーロ)	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
アルバルとリーシング・ソリューションズ							
営業収益	958	1,046	982	858	874	893	812
営業費用および減価償却費	-367	-358	-403	-347	-341	-341	-366
営業総利益	591	688	579	511	534	553	446
リスク費用	-46	-33	-38	-30	-38	-49	-30
営業利益	546	655	541	482	496	504	416
持分法適用会社投資損益	0	0	0	2	1	1	4
その他の営業外項目	12	3	-24	7	5	20	20
税引前利益	557	658	517	491	502	525	440
コスト/インカム率	38.3%	34.2%	41.0%	40.4%	39.0%	38.2%	45.1%
配賦資本（十億ユーロ、年初末）	3.8	3.8	3.7	3.5	3.4	3.3	3.3
リスクアセット（十億ユーロ）	33.8	32.0	33.5	32.0	31.2	30.7	29.5
合計契約残高（十億ユーロ）	57	55	53	51	49	49	48
ファイナンスフリート契約台数（千台）	1,668	1,643	1,614	1,592	1,520	1,501	1,484

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位：百万ユーロ)	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
ニューデジタル事業と個人投資家事業（プライベートバンキングの100%を含む）¹							
営業収益	266	252	243	228	197	217	205
営業費用および減価償却費	-170	-160	-164	-158	-149	-139	-132
営業総利益	96	91	79	70	48	77	73
リスク費用	-29	-30	-23	-42	-23	-23	-12
営業利益	67	62	57	28	25	54	61
持分法適用会社投資損益	-2	-2	-2	-2	-2	-2	-3
その他の営業外項目	0	0	0	0	0	1	0
税引前利益	65	60	55	25	23	53	58
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-1	-1	-1	-1	0	0	-1
ニューデジタル事業と個人投資家事業の税引前利益	64	59	54	25	22	52	58
コスト/インカム率							
配賦資本（十億ユーロ、年初末；プライベートバンキングの2/3を含む）	63.8%	63.7%	67.4%	69.4%	75.7%	64.3%	64.4%
リスクアセット（十億ユーロ）	0.8	0.8	0.8	0.5	0.5	0.5	0.4
個人投資家事業の融資平均残高（十億ユーロ）	4.6	4.5	4.7	4.8	4.9	4.8	4.9
個人投資家事業の預金平均残高（十億ユーロ）	2	2	2	2	2	2	1
個人投資家事業の運用資産残高（十億ユーロ）	32	32	32	30	31	31	30
個人投資家事業の運用資産残高（十億ユーロ）	164	162	157	150	150	147	162
個人投資家事業の欧州の顧客注文件数（百万件）	9.2	9.0	10.0	9.2	10.1	10.1	13.0
（単位：百万ユーロ）							
ニューデジタル事業と個人投資家事業（プライベートバンキングの2/3を含む）							
営業収益	263	248	240	225	195	214	203
営業費用および減価償却費	-168	-158	-162	-156	-147	-137	-130
営業総利益	95	90	78	69	48	77	72
リスク費用	-29	-30	-23	-42	-23	-23	-12
営業利益	66	61	56	27	25	54	60
持分法適用会社投資損益	-2	-2	-2	-2	-2	-2	-3
その他の営業外項目	0	0	0	0	0	1	0
税引前利益	64	59	54	25	22	52	58
コスト/インカム率							
配賦資本（十億ユーロ、年初末）	63.8%	63.7%	67.4%	69.4%	75.5%	64.1%	64.3%
リスクアセット（十億ユーロ）	0.8	0.8	0.8	0.5	0.5	0.5	0.4
個人投資家事業の融資平均残高（十億ユーロ）	4.6	4.5	4.7	4.8	4.9	4.8	4.9

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位：百万ユーロ)	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
インベストメント&プロテクションサービス (IPS) 部門							
営業収益	1,420	1,430	1,409	1,529	1,458	1,426	1,400
営業費用および減価償却費	-884	-879	-897	-956	-883	-862	-851
営業総利益	536	551	512	572	575	564	549
リスク費用	-13	-2	-1	14	2	-5	-7
営業利益	523	550	511	586	577	559	542
持分法適用会社投資損益	80	58	68	61	31	41	45
その他の営業外項目	3	0	0	-4	41	16	35
税引前利益	606	607	578	643	650	617	622
コスト/インカム率	62.2%	61.4%	63.7%	62.6%	60.5%	60.4%	60.8%
運用資産残高 (十億ユーロ、プライベートバンキングの100%)	1,204	1,218	1,213	1,172	1,157	1,180	1,227
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	10.4	10.4	10.6	10.0	10.0	10.0	9.9
リスクアセット (十億ユーロ)	40.1	40.1	40.6	40.6	43.2	44.7	48.7
(単位：百万ユーロ)	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
保険事業							
営業収益	536	557	524	500	514	512	490
営業費用および減価償却費	-202	-203	-202	-198	-199	-201	-197
営業総利益	334	353	322	302	315	311	294
リスク費用	0	0	0	0	0	0	0
営業利益	334	353	322	302	315	311	294
持分法適用会社投資損益	78	47	59	32	20	24	29
その他の営業外項目	0	0	0	-2	1	17	-3
税引前利益	411	400	381	332	336	352	319
コスト/インカム率	37.8%	36.5%	38.5%	39.5%	38.7%	39.2%	40.1%
運用資産残高 (十億ユーロ)	245	250	251	247	248	255	270
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	7.0	7.1	7.3	7.1	7.1	7.2	7.2
リスクアセット (十億ユーロ)	14.6	14.5	14.6	14.8	16.5	18.2	23.2
(単位：百万ユーロ)	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
ウェルス&アセット・マネジメント事業							
営業収益	884	873	885	1,029	944	914	910
営業費用および減価償却費	-681	-675	-695	-759	-684	-661	-655
営業総利益	202	198	190	270	260	253	255
リスク費用	-13	-2	-1	14	2	-5	-7
営業利益	189	196	189	284	262	248	249
持分法適用会社投資損益	2	11	9	29	11	18	16
その他の営業外項目	4	0	0	-2	40	-1	38
税引前利益	195	207	198	311	313	265	303
コスト/インカム率	77.1%	77.3%	78.6%	73.8%	72.4%	72.3%	72.0%
運用資産残高 (十億ユーロ、プライベートバンキングの100%)	959	968	962	925	908	925	956
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	3.4	3.4	3.3	2.9	2.9	2.8	2.8
リスクアセット (十億ユーロ)	25.5	25.6	26.0	25.8	26.7	26.5	25.5
(単位：百万ユーロ)	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
ウェルス・マネジメント事業							
営業収益	414	395	409	392	379	371	370
営業費用および減価償却費	-292	-285	-318	-317	-294	-273	-299
営業総利益	121	110	91	76	85	97	71
リスク費用	-2	-1	-1	13	1	-3	-7
営業利益	119	109	91	89	86	94	64
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	4	0	0	-1	40	0	0
税引前利益	123	109	91	87	126	94	64
コスト/インカム率	70.6%	72.1%	77.7%	80.7%	77.5%	73.7%	80.8%
運用資産残高 (十億ユーロ、プライベートバンキングの100%)	408	410	406	393	389	394	403
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	1.3	1.3	1.3	1.4	1.4	1.3	1.3
リスクアセット (十億ユーロ)	11.7	11.3	11.8	12.0	13.1	13.3	12.3
(単位：百万ユーロ)	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
アセット・マネジメント事業 (不動産管理、IPSインベストメントを含む)							
営業収益	470	478	476	636	565	543	540
営業費用および減価償却費	-389	-390	-377	-442	-390	-387	-356
営業総利益	81	87	98	194	175	156	184
リスク費用	-11	0	0	1	1	-2	1
営業利益	70	87	98	195	176	154	185
持分法適用会社投資損益	2	11	9	29	11	18	16
その他の営業外項目	0	0	0	0	0	-1	38
税引前利益	72	98	107	224	187	171	239
コスト/インカム率	82.8%	81.7%	79.3%	69.5%	69.0%	71.3%	65.9%
運用資産残高 (十億ユーロ)	551	558	555	532	519	531	553
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	2.1	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5
リスクアセット (十億ユーロ)	13.8	14.3	14.2	13.8	13.6	13.2	13.2



(単位：百万ユーロ)	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
コーポレート・センター (合計)							
営業収益	-304	-665	-744	-627	-324	-402	-364
うちボラティリティの修正再表示(保険事業)	-2	-33	-16	-87	-31	-108	-158
うち付随費用の修正再表示 (内部の販売会社)	-236	-271	-250	-296	-249	-252	-259
営業費用および減価償却費	16	-47	-375	85	27	64	-283
うち事業再編、IT強化、事業適応費用	-127	-151	-361	-188	-125	-106	-72
うち付随費用の修正再表示 (内部の販売会社)	236	271	250	296	249	252	259
営業総利益	-287	-712	-1,118	-542	-296	-338	-648
リスク費用	-7	-33	6	59	-126	-64	-54
営業利益	-294	-745	-1,112	-483	-423	-402	-702
持分法適用会社投資損益	16	17	12	-38	19	19	23
その他の営業外項目	3	93	-1	51	-2	-66	-42
税引前利益	-275	-636	-1,101	-469	-406	-449	-722
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	4.4	4.3	4.3	3.7	3.7	3.5	3.8
リスクアセット (十億ユーロ)	43.6	42.1	38.3	37.1	27.9	28.3	22.1

(単位：百万ユーロ)	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
コーポレート・センター：保険事業に関連するボラティリティの修正再表示 (IFRS第9号) および付随費用 (内部の販売会社)							
営業収益	-239	-305	-266	-384	-280	-359	-417
ボラティリティの修正再表示(保険事業)	-2	-33	-16	-87	-31	-108	-158
付随費用の修正再表示 (内部の販売会社)	-236	-271	-250	-296	-249	-252	-259
営業費用および減価償却費	236	271	250	296	249	252	259
うち事業再編、IT強化、事業適応費用	0	0	0	0	0	0	0
付随費用の修正再表示 (内部の販売会社)	236	271	250	296	249	252	259
営業総利益	-2	-33	-16	-87	-31	-108	-158
リスク費用	0	0	0	0	0	0	0
営業利益	-2	-33	-16	-87	-31	-108	-158
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	0	0	0	0	0	0	0
税引前利益	-2	-33	-16	-87	-31	-108	-158

(単位：百万ユーロ)	3Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
コーポレート・センター 保険事業に関連するボラティリティの修正再表示 (IFRS第9号) および付随費用 (内部の販売会社) を除く							
営業収益	-65	-361	-478	-244	-43	-43	52
営業費用および減価償却費	-220	-318	-624	-211	-222	-187	-542
うち事業再編、IT強化、事業適応費用	-127	-151	-361	-188	-125	-106	-72
営業総利益	-285	-679	-1,102	-455	-265	-230	-490
リスク費用	-7	-33	6	59	-126	-64	-54
営業利益	-292	-712	-1,096	-396	-391	-294	-544
持分法適用会社投資損益	16	17	12	-38	19	19	23
その他の営業外項目	3	93	-1	51	-2	-66	-42
税引前利益	-273	-603	-1,085	-382	-374	-342	-564



代替的業績指標 (ALTERNATIVE PERFORMANCE MEASURES: APM) – フランス金融市場庁 (AMF) の一般規則第223-1条に基づく開示

代替的業績指標	定義	使用理由
コーポレート・センターの損益の合計	<p>2023年1月1日から、IFRS第9号が保険事業に適用されるのと同時にIFRS第17号（保険契約）が適用されることを受けて、「コーポレート・センター（保険事業に関連するボラティリティの修正再表示（IFRS第9号）および付随費用（内部の販売会社）を含む）」の損益の合計をいい、以下を含む。</p> <ul style="list-style-type: none"> - IFRS第9号公正価値会計に基づく一部の保険資産の認識により生じた業績のボラティリティの、コーポレート・センターの営業収益への修正再表示 - 「保険事業に帰属する」とみなされる営業費用は、営業収益から差し引いて計上され、営業費用としては計上されない。これらの会計項目は、保険契約を販売する保険事業および当グループの事業体（保険事業を除く）（すなわち内部の販売会社）にのみ関係し、営業総利益には影響を与えない。内部販売契約に関連する項目による影響は、「コーポレート・センター」に帰属する。 <p>グループの調整後の損益の合計は「連結四半期業績の推移」の表で開示</p>	個々の事業の業績の読み方を混乱させないための、「保険事業に帰属する」営業費用が内部販売契約に及ぼす影響のコーポレート・センターへの振替
コスト/インカム率	営業費用を営業収益で除した比率	銀行業務における業務の効率性を表す指標
リスク費用+期首顧客向け融資残高 (単位：ペーシスポイント)	<p>リスク費用（単位：百万ユーロ）を期首の顧客向け融資残高で除したもの</p> <p>詳細な算定方法については、決算資料に添付された「融資残高に関するリスク費用」で開示</p>	事業別の貸出金残高総額におけるリスクレベルの指標
分配可能純利益	<p>2023年2月1日のBank of the Westの売却後であるだけでなく、単一破綻処理基金の増額の最終年度と予想され、特別損益項目が特徴的な重要な年度である2023年度のグループの本源的業績を反映するために、2023年2月に行われた発表に基づき調整された純利益までの損益の合計。</p> <p>2023年度決算資料のスライドの「分配可能純利益の計算」に詳述されている調整は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 予想される2023年度における単一破綻処理基金の増額終了の影響を加味する。 - 売却予定の企業の純利益（IFRS第5号の適用）（特に、Bank of the Westの売却による譲渡益）およびBank of the Westの売却に関連する追加的項目を除外する。 - 2022年度第4四半期に欧州中央銀行が決定したTLTROの条件変更に伴うヘッジ調整による一時的なマイナス影響の相殺等の特別損益項目を除外する。 <p>分配可能純利益は、2023年度の通常分配の計算および2023年度のグループの業績を観察するために使用される。</p>	Bank of the Westの売却による影響が生じた後の重要な年度であり、単一破綻処理基金への拠出の増額の最終年度と予想され、特別損益項目が特徴的である2023年度における、BNPパリバ・グループの本源的業績を反映した純利益を表す指標
不良債権カバー率	<p>金融資産（ステージ3）の引当金と当該資産（ステージ3）の減損後残高との関係を表す指標。対象となる資産は、バランスシート上およびオフバランスシートの債権を含み、受け取った担保と相殺する。顧客向けおよび金融機関向け債権には、償却原価で測定される負債および資本を通じて公正価値で測定する有価証券を含む（保険事業を除く）。</p>	不良債権に対する引当の状況を表す指標
営業費用の変化 (IFRIC第21号を除外後)	IFRIC第21号に基づく税金・拠出金を除いた上で、営業費用の変化を算定	IFRIC第21号に基づく税金および拠出金は、事業年度に関わるほぼ全額を上半期に計上するが、その影響を排除し、他の四半期との比較の際の混乱を避け、当事業年度の営業費用の推移をとらえる指標



代替的業績指標	定義	使用理由
保険事業の損益の合計 (営業収益、営業費用、 営業総利益、営業利益、 税引前利益の合計)	保険事業の損益の合計（営業収益、営業総利益、営業利益、税引前利益の合計） (なお、コーポレート・センターに振り替えられる、一部の資産の純損益を通じた公正価値会計（IFRS第9号）により生じるボラティリティを除く。売却時に実現した損益および潜在的な長期減価償却費は、保険事業の損益に含まれる。） グループの調整後の損益の合計は「連結四半期業績の推移」の表で開示	営業上の本源的業績を反映した保険事業の業績の表示（技術面および財政面）
一時項目を除く当グループの純利益	一時項目を除いて算定された株主帰属純利益 一時項目の詳細については、決算資料に添付された「主な一時項目」で開示	多額の非経常的項目あるいは本業の業績を反映しない項目を除外した、BNPパリバ・グループの純利益を表す指標。除外される項目の主なものに、事業再編、事業適応、IT強化および事業変革費用がある。
事業部門の損益の合計 (各事業部門の営業収益、正味利息収益、営業費用、営業総利益、営業利益、税引前利益の合計)	コマーシャル&個人向けバンキングサービス部門、 インベストメント&プロテクションサービス部門、 ホールセールバンキング部門の損益の合計 (なお、コマーシャル&個人向けバンキング事業の損益の合計には、フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルク、ドイツ、ポーランドおよびトルコのプライベートバンキングの2/3を含む) BNPパリバ・グループの損益の合計 =事業部門 + コーポレート・センターの損益の合計 グループの調整後の損益の合計は「コア事業別業績」の表で開示 コマーシャル&個人向けバンキングにおける正味利息収益は、正味受取利息（財務諸表の注記3.aに定義される）のみならずその他の収益（財務諸表の注記3.c、3.dおよび3.eに定義される）を含むが、手数料（財務諸表の注記3.bに定義される）を除く。コマーシャル&個人向けバンキングまたは保険契約を販売する専門的金融事業の損益の合計は、「保険事業に帰属する」とみなされる営業費用（営業収益から差し引いて計上され、営業費用としては計上されない）のIFRS第17号の適用による会計表示への影響を除く。この影響はコーポレート・センターに及ぶ。	BNPパリバ・グループの本業の業績を示す指標
PEL/CELの影響を除く損益の合計 (各事業部門の営業収益、営業総利益、営業利益、税引前利益の合計)	PEL/CELの影響を除く損益の合計 グループの調整後の損益の合計は「連結四半期業績の推移」の表で開示	PEL/CEL口座の全存続期間にわたり発生するリスクに対する引当金変動を除く、当期の損益の合計を表す指標
プライベートバンキングの100%を含むコマーシャル&個人向けバンキング事業の損益の合計	プライベートバンキング全体の損益を含むコマーシャル&個人向けバンキング事業の損益の合計 グループの調整後の損益の合計は「連結四半期業績の推移」の表で開示	コマーシャル&個人向けバンキング事業の業績を示す指標であり、プライベートバンキングの業績の全部を含む (プライベートバンキングは、コマーシャル&個人向けバンキング(2/3)とウェルス・マネジメント(1/3)の共同責任のもとに置かれるが、その割合に基づきウェルス・マネジメントに損益を配分する前の数値)
自己資本利益率 (ROE)	ROEの詳細な算定方法については、決算資料に添付された「株主資本利益率」で開示	BNPパリバ・グループの自己資本の収益力を表す指標



代替的業績指標	定義	使用理由
有形自己資本利益率 (ROTE)	ROTEの詳細な算定方法については、決算資料に添付された「株主資本利益率」で開示	BNPパリバ・グループの有形自己資本の収益力を表す指標



比較分析 — 連結範囲の変更および為替レート変動による影響の排除

連結範囲の変更による影響を排除するための方法は、買収、売却など、取引の形態に依る。その計算の根本的な目的は、期間比較可能性を確保することにある。

企業を買収または新設した場合、当該企業の業績は、同企業が過年度に未だ買収あるいは設立されていなかった期間に対応する分について、連結範囲の変更による影響を除く当会計年度の期間から排除する。

事業売却の場合、当該事業体の業績は、売却以降の期間に対応する過年度の四半期について対称的に排除する。

連結の会計処理方法を変更した場合、同一条件の下に調整した四半期業績に対して、2会計年度（当期および前期）の間で存在した最も低い持分比率を適用する。

為替レート変動による影響を除いた比較分析においては、前年度の四半期（比較対象となる四半期）業績を、当四半期（分析対象となる四半期）の為替レートで修正再表示する。これらの計算はすべて、会社の報告通貨を基準に行う。

注：

営業費用：従業員給与および従業員給付制度に関わる費用、その他営業費用、有形固定資産の減価償却費、無形固定資産の償却費、および不動産・機械設備を含む固定資産の減損などの総額を指す。本資料全体にわたり、「営業費用」および「費用」は特に区別することなく使われている。

事業部門：以下の3部門からなる。

- **ホールセールバンキング (CIB) 部門：**グローバル・バンキング事業、グローバル・マーケット事業、証券管理事業
- **コマース&個人向けバンキングサービス (CPBS) 部門：**
 - コマース&個人向けバンキング事業（フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、欧州・地中海沿岸諸国）
 - 専門的金融事業—アルバル、リーシング・ソリューションズ、パーソナル・ファイナンス、ニューデジタル事業（Nickel、Lyf等を含む）、個人投資家事業
- **インベストメント&プロテクションサービス (IPS) 部門：**保険事業、ウェルス&アセット・マネジメント事業（ウェルス・マネジメント事業、アセット・マネジメント事業、不動産管理事業、プリンシパル・インベストメントを含む）



堅調な業績	3
ホールセールバンキング (CIB) 部門	8
コマーシャル&個人向けバンキングサービス (CPBS) 部門	11
インベストメント&プロテクションサービス (IPS) 部門	19
コーポレート・センター	21
財務構造	23
連結貸借対照表 – 2023年9月30日現在	24
連結損益計算書	25
2023年度第3四半期 – コア事業別業績	26
2023年度1-9月期 – コア事業別業績	27
連結四半期業績の推移	28
代替的業績指標 (ALTERNATIVE PERFORMANCE MEASURES: APM) – フランス金融市場庁 (AMF) の一般規則第223-1条に基づく開示	40

Investor Relations & Financial Information

Chrystelle Renaud +33 (0)1 40 14 63 58

Raphaëlle Bouvier Flory +33 (0)1 42 98 45 48

Lisa Bugat +33 (0)1 42 98 23 40

Didier Leblanc +33 (0)1 42 98 43 13

Patrice Ménard +33 (0)1 40 14 63 58

Olivier Parenty +33 (0)1 55 77 55 29

Debt Investor Relation Officer

Didier Leblanc +33 (0)1 42 98 43 13

E-mail: investor.relations@bnpparibas.com

<https://invest.bnpparibas.com>



BNP PARIBAS

**The bank
for a changing
world**